

**「第5次鶴居村総合計画」策定に向けた  
アンケート調査報告書  
《概要版》**

**鶴 居 村**

# 目 次

|                    |    |
|--------------------|----|
| 第1章 調査の概要          | 3  |
| 1. 調査の概要           | 3  |
| 2. 調査票の回収結果        | 3  |
| 3. 集計結果の表し方        | 3  |
| 第2章 一般向けアンケート集計結果  | 4  |
| 1. 回答者の属性          | 4  |
| 2. 鶴居村への愛着・暮らしやすさ  | 5  |
| (1) 鶴居村への愛着度       | 5  |
| (2) 鶴居村の暮らしやすさ     | 5  |
| (3) 鶴居村での居住理由      | 6  |
| (4) 幸福感（豊かさ）とは何か   | 6  |
| 3. 鶴居村の取り組みについて    | 7  |
| (1) 現状の満足度         | 7  |
| (2) 評価点による満足度評価    | 8  |
| (3) 今後の重要度         | 9  |
| (4) 評価点による重要度評価    | 10 |
| (5) 今後力を入れるべき施策    | 11 |
| 4. 今後のむらづくりについて    | 12 |
| (1) 鶴居村の将来像        | 12 |
| (2) 産業振興で力を注ぐべき分野  | 13 |
| (3) 観光・交流振興で重要なこと  | 14 |
| 5. 少子化対策について       | 15 |
| 6. 高齢福祉について        | 16 |
| (1) 老後の不安          | 16 |
| (2) 老後の不安の内容       | 16 |
| (3) 高齢福祉で力を注ぐべきこと  | 17 |
| 7. 外出時の移動手段について    | 18 |
| (1) 外出時の移動手段       | 18 |
| (2) 外出の目的          | 18 |
| (3) 外出時に困っていること    | 19 |
| (4) 移動に関する将来の不安    | 19 |
| (5) 移動に関して不安を感じる内容 | 20 |
| (6) 路線バス利用頻度       | 20 |
| (7) 路線バスを利用していない理由 | 21 |

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 8. むらづくりへの住民参画について.....         | 22 |
| (1) 参加したいむらづくり活動.....           | 22 |
| (2) 村民意向がむらづくりに反映されているかどうか..... | 23 |
| (3) 村民の声をむらづくりに活かすために大切なこと..... | 23 |
| (4) むらづくり・地域に関してほしい情報.....      | 24 |
| (5) 行政サービス・財政運営で進めていくべきこと.....  | 25 |
| 第3章 中学生向けアンケート集計結果.....         | 26 |
| 1. 回答者の属性.....                  | 26 |
| 2. 愛着度と定住意向.....                | 26 |
| (1) 鶴居村への愛着度.....               | 26 |
| (2) 鶴居村での暮らしやすさ.....            | 27 |
| (3) 今後の定住意向.....                | 27 |
| (4) 将来、鶴居村に居住したい理由.....         | 28 |
| (5) 将来、鶴居村に居住したくない理由.....       | 28 |
| (6) 幸福感（豊かさ）とは何か.....           | 29 |
| 3. 将来の職業.....                   | 29 |
| (1) 将来就きたい職業.....               | 29 |
| 4. 鶴居村の将来.....                  | 30 |
| (1) 将来希望する鶴居村の姿.....            | 30 |
| (2) 今後、村づくりで力を注ぐべきこと.....       | 31 |

# 第1章 調査の概要

## 1. 調査の概要

本調査は「第5次鶴居村総合計画」（平成30～39年度）策定するために必要な基礎資料の収集を目的に実施したものです。

|      |   |
|------|---|
| 調査対象 | 平成28年4月1日現在<br>一般向け：鶴居村に在住する16歳以上の男女2,000人<br>中学生向け：鶴居村に在住する全中学生81人 |
| 抽出方法 | 一般向け：住民基本台帳から無作為抽出<br>中学生向け：悉皆調査（全量調査）                              |
| 調査期間 | 平成28年9月28日～10月14日   |
| 調査方法 | 郵送による調査票の配布・回収  |

## 2. 調査票の回収結果

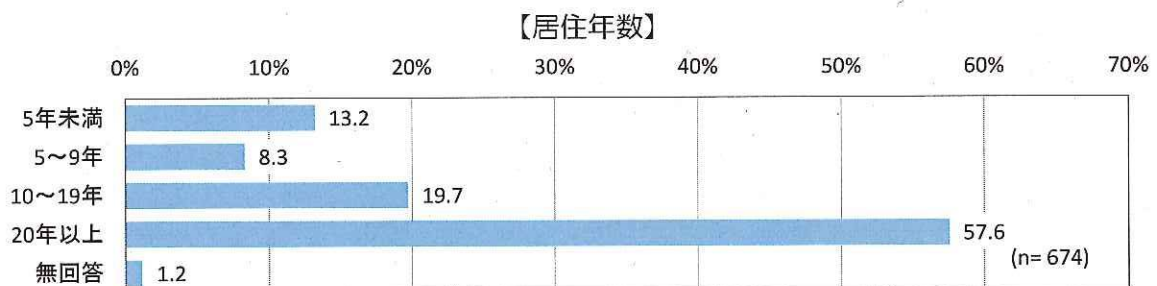
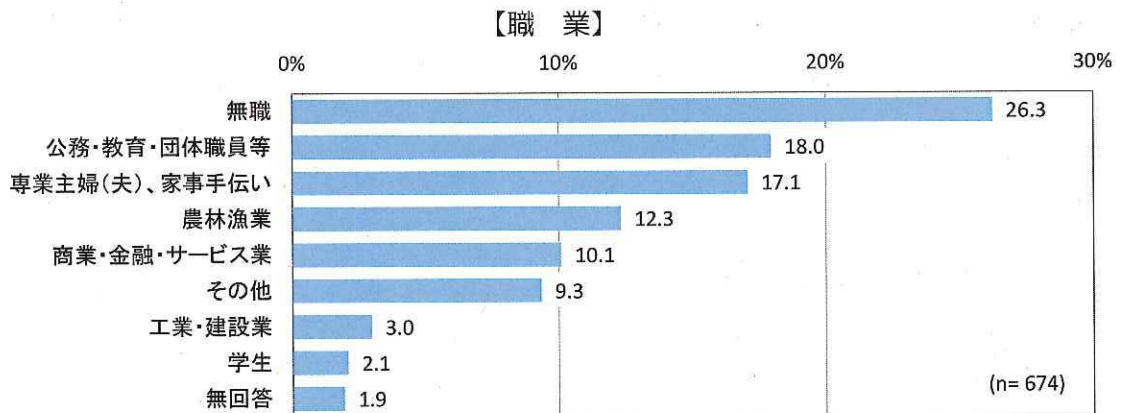
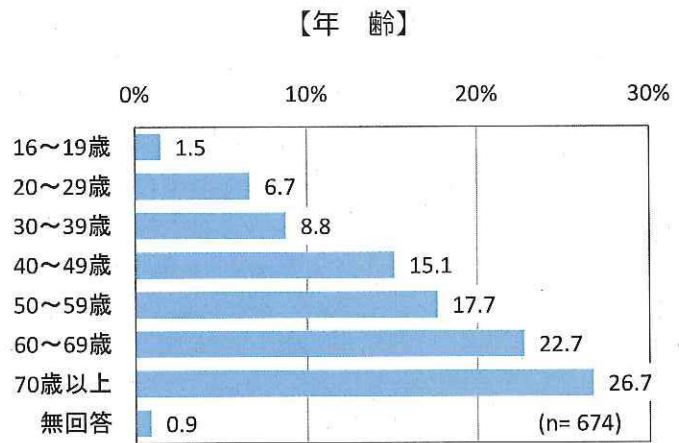
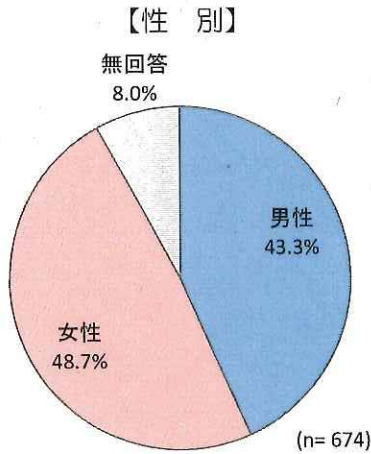
|       | 配布数<br>(票) | 回収数<br>(票) | 白票<br>(票) | 有効回収数<br>(票) | 回収率<br>(%) |
|-------|------------|------------|-----------|--------------|------------|
| 一般向け  | 2,000      | 675        | 1         | 674          | 33.7       |
| 中学生向け | 81         | 81         | 0         | 81           | 100.0      |

## 3. 集計結果の表し方

- 調査結果の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 百分率による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図の数字に関しては、全て小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表記しています。複数回答の設問では、全ての比率の合計が100%を超えることがあります。
- クロス集計（男女別の集計など）の表については、分析軸の項目の後に（n）として、各項目の回答者数を表記しています。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合は表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。

## 第2章 一般向けアンケート集計結果

### 1. 回答者の属性



## 2. 鶴居村への愛着・暮らしやすさ

### (1) 鶴居村への愛着度

「たいへん愛着がある」(45.7%) および「どちらかといえば愛着がある」(38.7%) の合計は 84.4% となっている一方、「どちらかといえば愛着はない」「全く愛着はない」の合計は 3.6% で非常に少なく、村民の鶴居村への愛着度は非常に高いといえます。

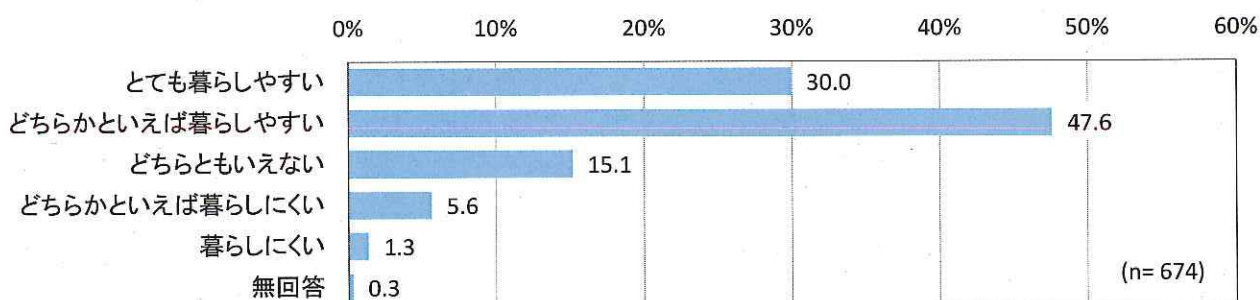
問2 あなたは、鶴居村に愛着を感じていますか。(1つに○印)



### (2) 鶴居村の暮らしやすさ

鶴居村の暮らしやすさは、「とても暮らしやすい」(30.0%)、「どちらかといえば暮らしやすい」(47.6%) の合計が 77.6% となっています。一方、「どちらかといえば暮らしにくい」(5.6%) と「暮らしにくい」(1.3%) の合計は 6.9% にとどまっています。

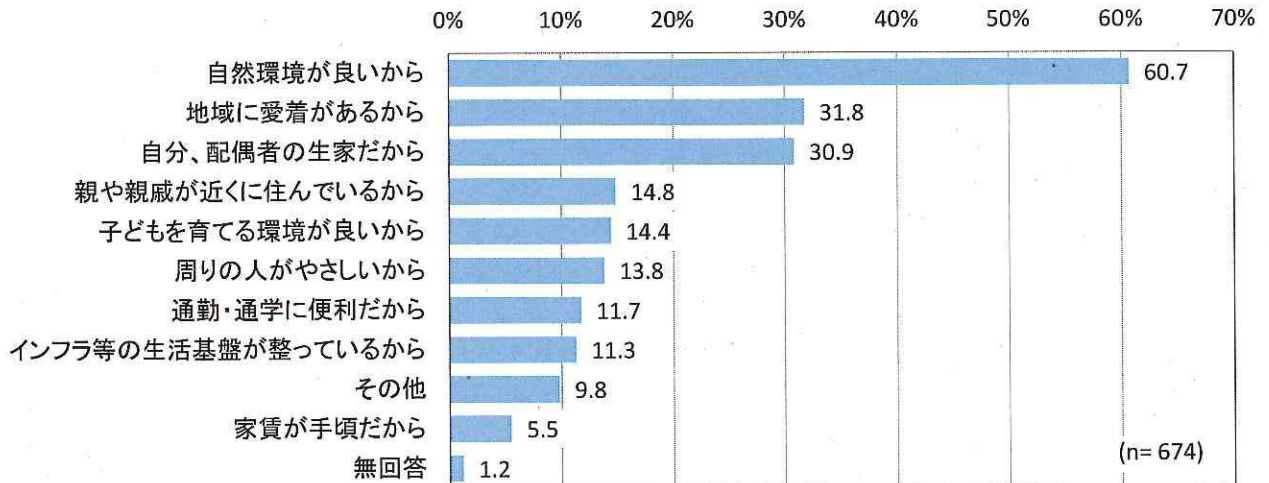
問3 あなたにとって、鶴居村は暮らしやすいですか。(1つに○印)



### (3) 鶴居村での居住理由

鶴居村での居住理由は、「自然環境が良いから」が60.7%で最も多く、次いで「地域に愛着があるから」(31.8%)、「自分、配偶者の生家だから」(30.9%)と続いています。

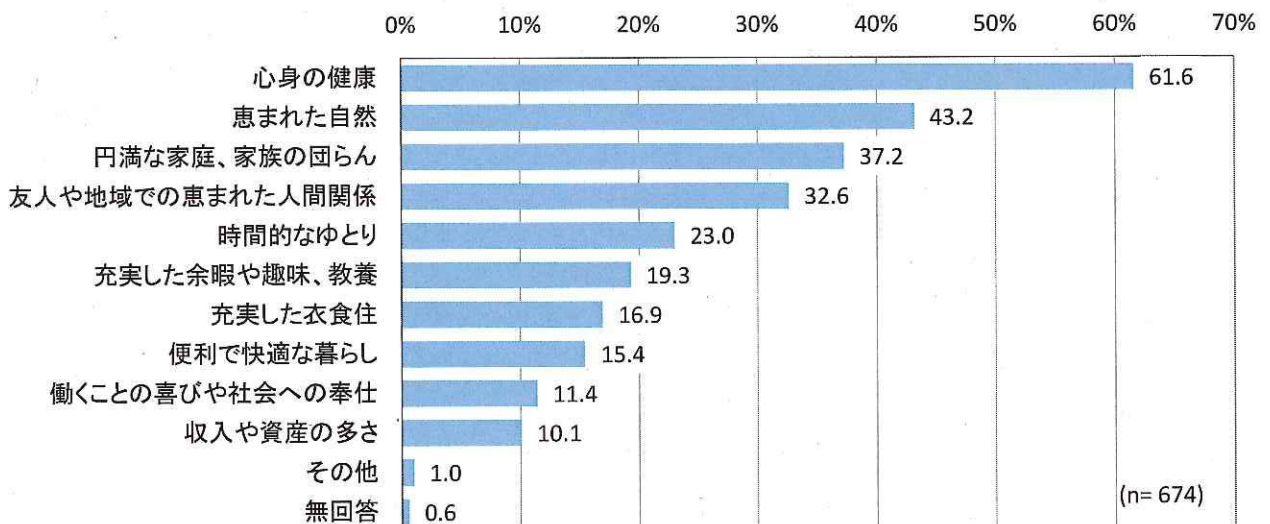
問4 あなたが鶴居村に住んでいる理由は何ですか。(3つまで〇印)



### (4) 幸福感（豊かさ）とは何か

幸福感（豊かさ）は、「心身の健康」が61.6%で最も多く、次いで「恵まれた自然」(43.2%)、「円満な家庭、家族の団らん」(37.2%)が続いています。

問5 あなたにとって“幸福感（豊かさ）”とは何ですか。(3つまで〇印)



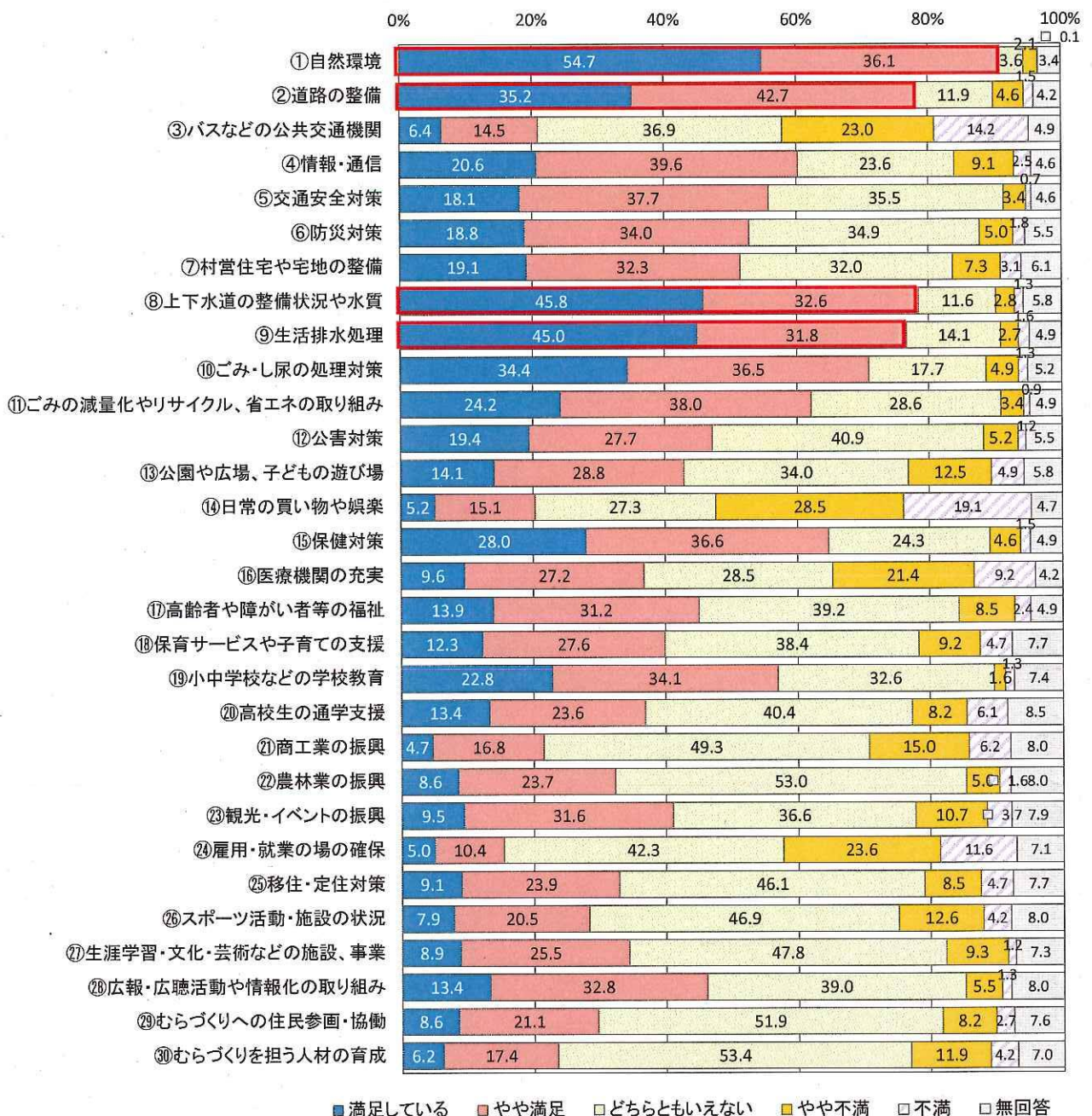
### 3. 鶴居村の取り組みについて

#### (1) 現状の満足度

鶴居村の現状に関して「満足している」「やや満足」の合計でみると、「①自然環境」が90.8%で最も満足度が高く、次いで「⑧上下水道の整備状況や水質」(78.5%)、「②道路の整備」(77.9%)、「⑨生活排水処理」(76.7%)が続いており、生活インフラの満足度が高くなっています。

問6 鶴居村の現状と今後の取り組みについておたずねします。

1) あなたは、鶴居村の現状について、どの程度満足していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。

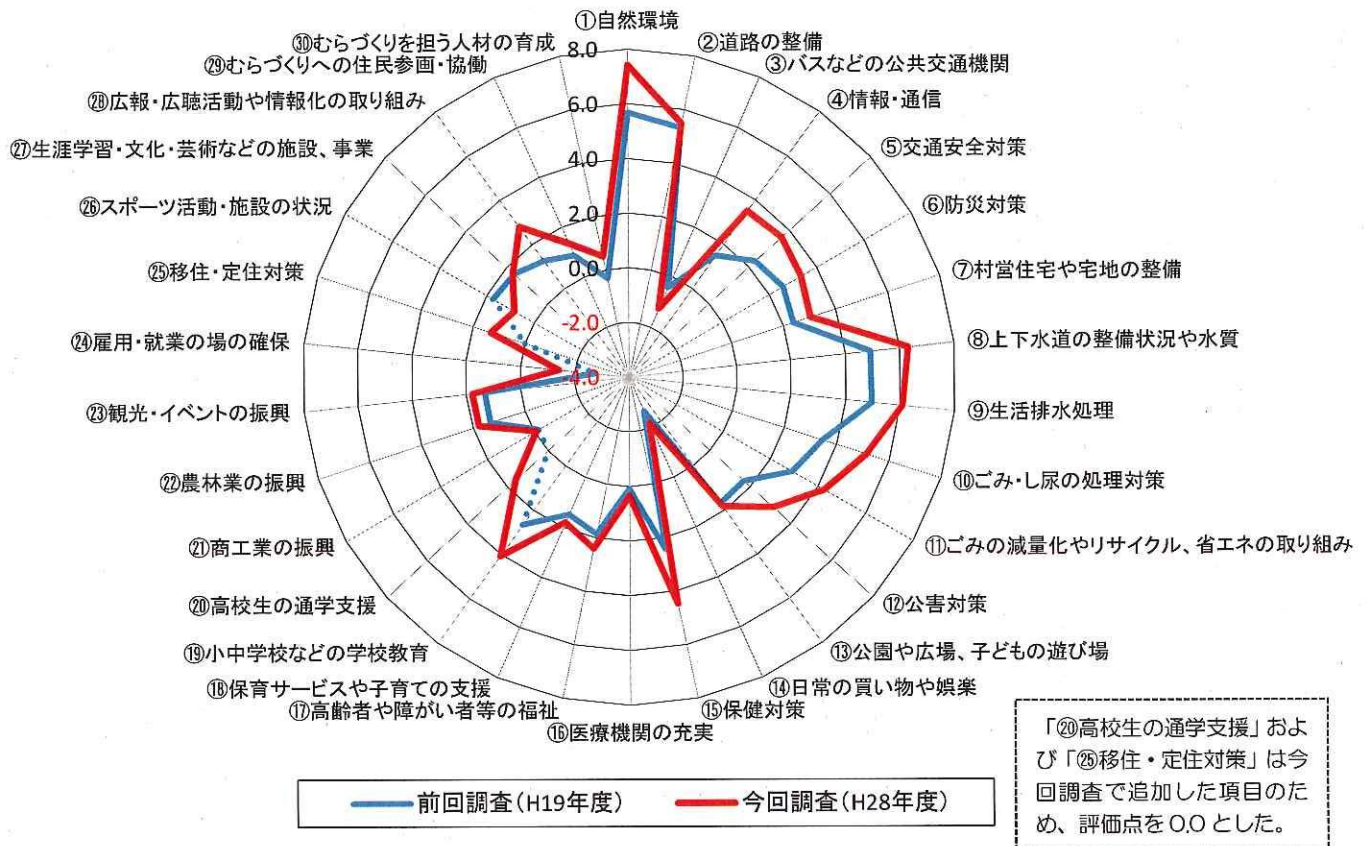




## (2) 評価点による満足度評価

評価点による満足度評価を平成 19 年度に実施された前回調査と比較すると、グラフの概形はほぼ同じですが、今回調査は全体的に前回よりも大きな形となっており、満足度が高くなっている項目が多いことがわかります。

「自然環境」「上下水道の整備状況や水質」「生活排水処理」で満足度が高く、「日常の買い物や娯楽」「雇用・就業の場の確保」「バスなどの公共交通機関」で満足度が低くなっています。



### ※満足度の評価点（加重平均）の算出方法

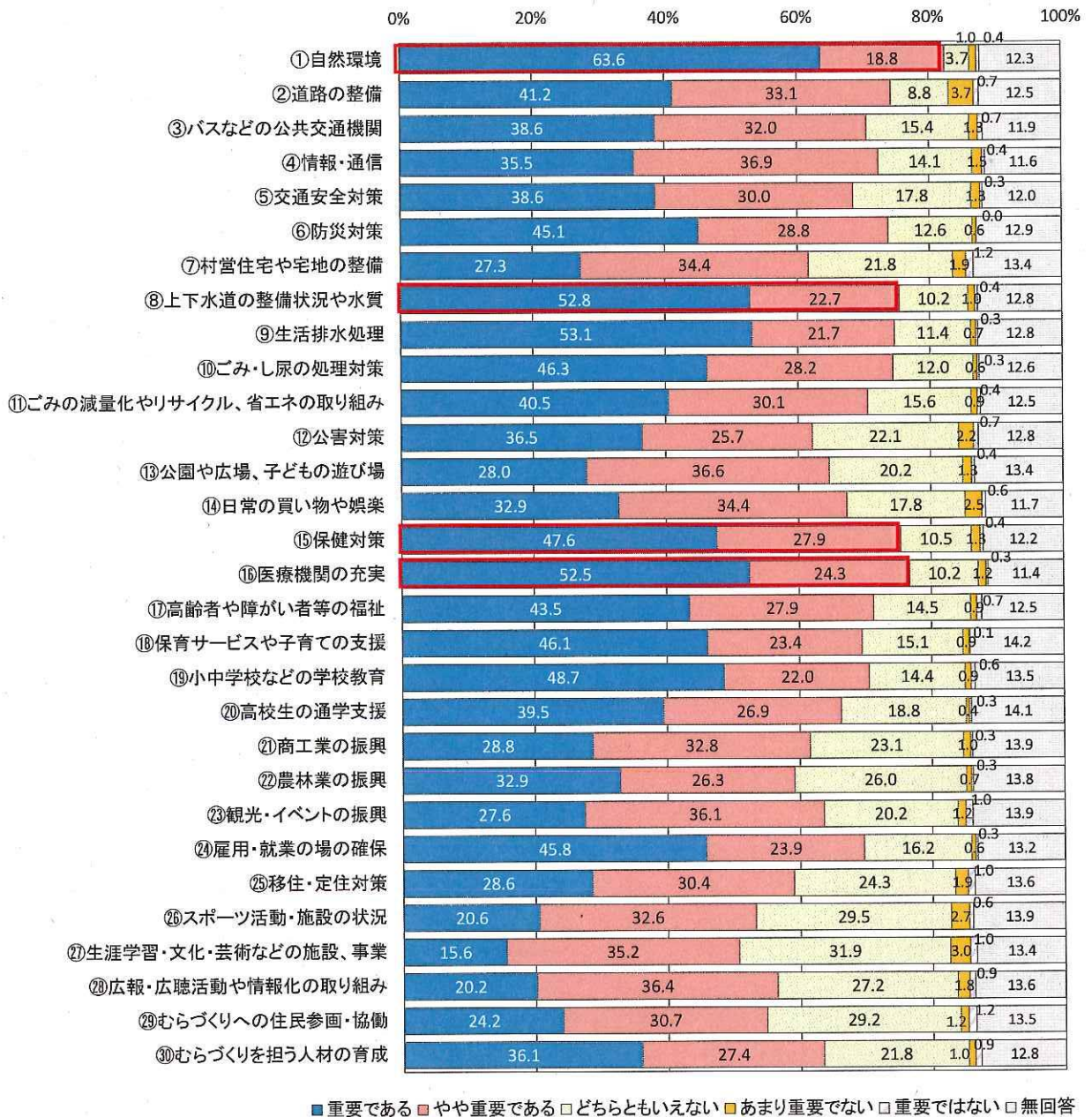
$$\text{評価点} = \frac{
 \begin{aligned}
 & \left[ \begin{array}{ll}
 \text{「満足している」の回答者数} & \times 10 \text{点} \\
 \text{「やや満足」の回答者数} & \times 5 \text{点} \\
 \text{「どちらともいえない」の回答者数} & \times 0 \text{点} \\
 \text{「やや不満」の回答者数} & \times -5 \text{点} \\
 \text{「不満」の回答者数} & \times -10 \text{点}
 \end{array} \right]
 \end{aligned}
 }{\div \text{無回答以外の回答者数}}$$

### (3) 今後の重要度

今後の重要度は、「重要である」と「やや重要である」の合計でみると、「①自然環境」が82.5%で最も重要度が高く、次いで「⑩医療機関の充実」(76.9%)、「⑧上下水道の整備状況や水質」「⑮保健対策」(ともに75.5%)が続いています。

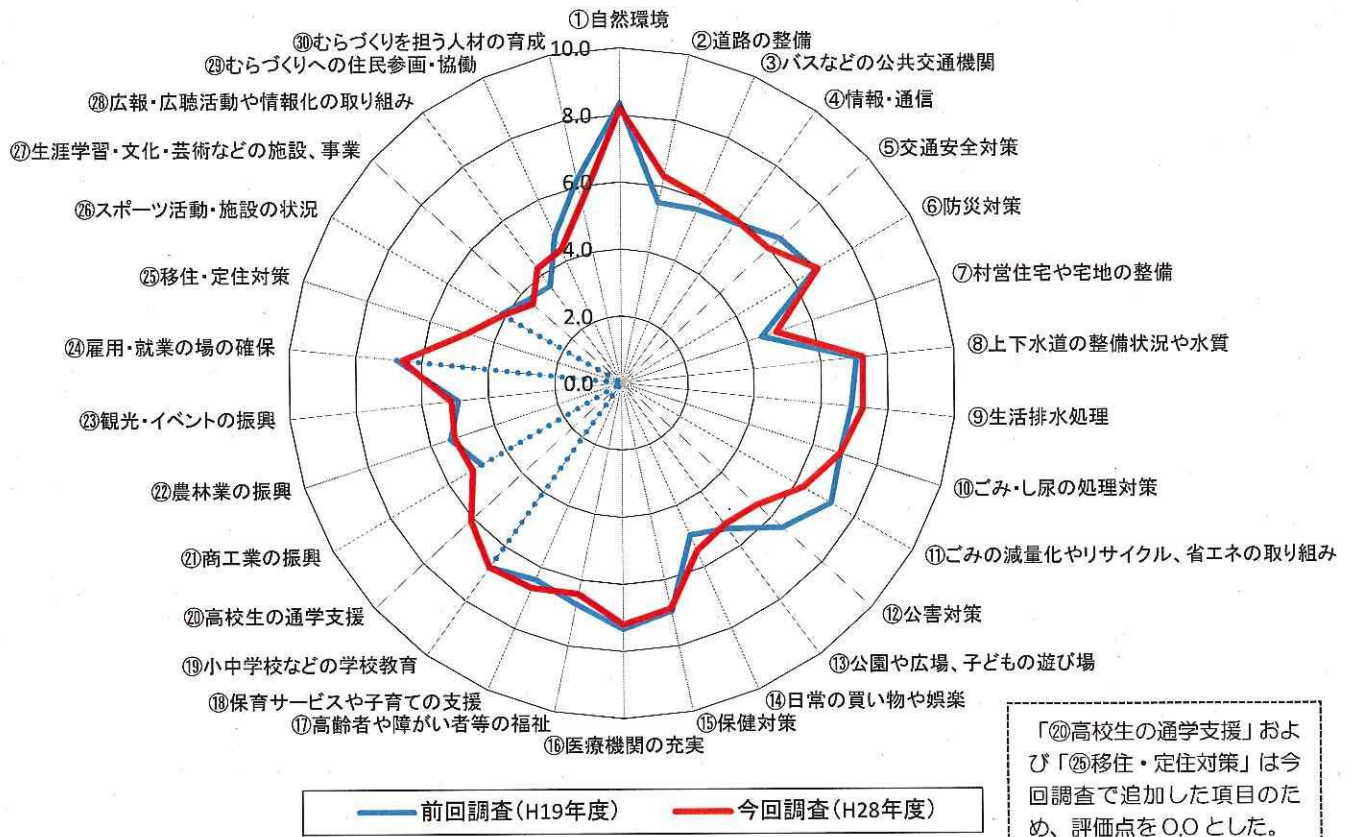
問6 鶴居村の現状と今後の取り組みについておたずねします。

2) あなたは、鶴居村の今後の取り組みについて、どの程度重視していますか。それぞれの項目についてあてはまる番号1つに○印をつけてください。



#### (4) 評価点による重要度評価

評価点による重要度評価を平成19年度に実施された前回調査と比較すると、重要度が上がった上位3項目は、「道路の整備」「広報・広聴活動や情報化の取り組み」「日常の買い物や娯楽」となっています。一方、重要度が下がった主な3項目は「公害対策」「ごみの減量化やリサイクル、省エネの取り組み」「村づくりを担う人材の育成」となっています。



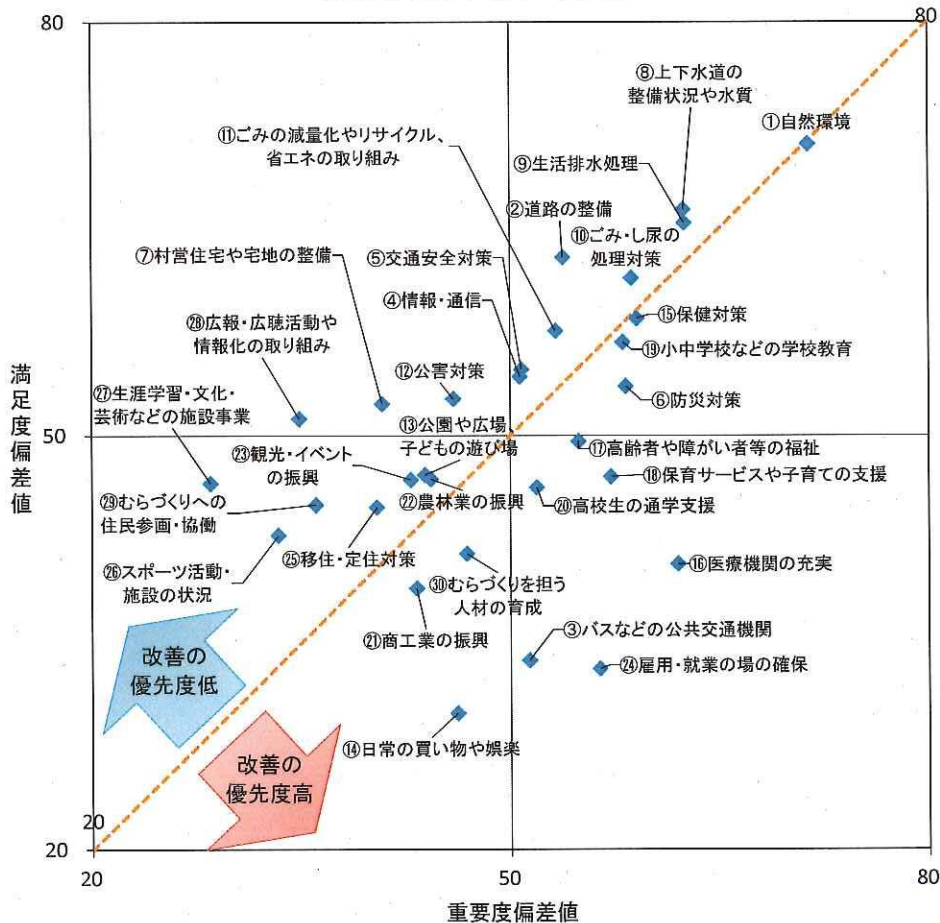
#### ※重要度の評価点（加重平均）の算出方法

$$\text{評価点} = \frac{
 \begin{array}{l}
 \left[ \begin{array}{l}
 \text{「重要である」の回答者数} \quad \times \quad 10 \text{点} \\
 \text{「やや重要である」の回答者数} \quad \times \quad 5 \text{点} \\
 \text{「どちらともいえない」の回答者数} \quad \times \quad 0 \text{点} \\
 \text{「あまり重要でない」の回答者数} \quad \times \quad -5 \text{点} \\
 \text{「重要ではない」の回答者数} \quad \times \quad -10 \text{点}
 \end{array} \right]
 \end{array}
 }{\div \text{無回答以外の回答者数}}$$

## (5) 今後力を入れるべき施策

村の各項目についての満足度と重要度に関して偏差値による分析を行い、改善度を算出しました。この分析によって、今後力を入れるべき施策として改善の必要性が高い上位項目を抽出したところ、「雇用・就業の場の確保」「医療機関の充実」「バスなどの公共交通機関」「日常の買い物や娯楽」の優先度が高くなっています。

【満足度と重要度の相関】



| 改善の優先度が高いと思われる項目 | 改善の優先度が低いと思われる項目        |
|------------------|-------------------------|
| ②④雇用・就業の場の確保     | ②②農林業の振興                |
| ①⑥医療機関の充実        | ⑩⑩ごみ・し尿の処理対策            |
| ③③バスなどの公共交通機関    | ⑨⑨生活排水処理                |
| ⑭⑭日常の買い物や娯楽      | ⑬⑬公園や広場、子どもの遊び場         |
| ⑩⑩保育サービスや子育ての支援  | ④④情報・通信                 |
| ⑳⑳高校生の通学支援       | ③③観光・イベントの振興            |
| ③③むらづくりを担う人材の育成  | ⑤⑤交通安全対策                |
| ⑰⑰高齢者や障がい者等の福祉   | ⑧⑧上下水道の整備状況や水質          |
| ⑥⑥防災対策           | ⑪⑪ごみの減量化やリサイクル、省エネの取り組み |
| ⑳⑳商工業の振興         | ⑫⑫移住・定住対策               |
| ⑲⑲小中学校などの学校教育    | ⑫⑫公害対策                  |
| ⑮⑮保健対策           | ⑲⑲むらづくりへの住民参画・協働        |
| ①①自然環境           | ②②道路の整備                 |
|                  | ⑳⑳スポーツ活動・施設の状況          |
|                  | ⑦⑦村営住宅や宅地の整備            |
|                  | ⑳⑳広報・広聴活動や情報化の取り組み      |
|                  | ⑲⑲生涯学習・文化・芸術などの施設、事業    |

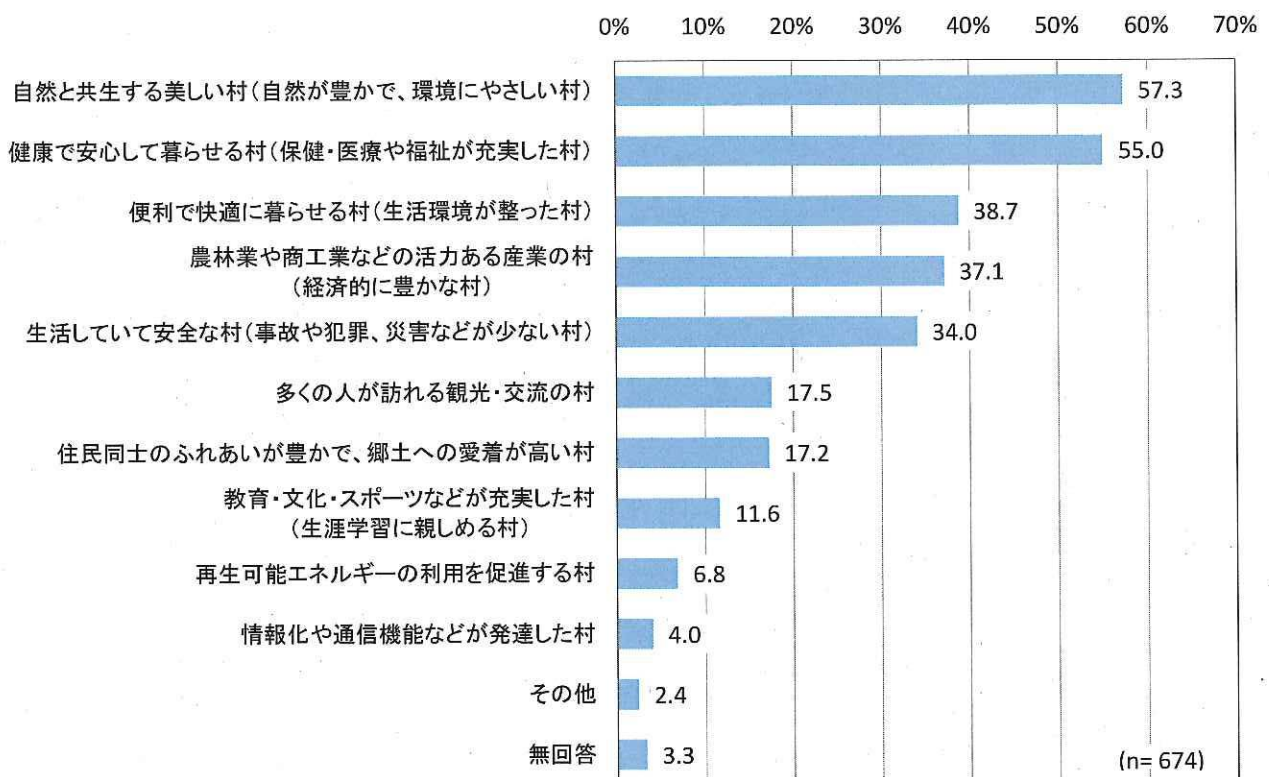
## 4. 今後のむらづくりについて

### (1) 鶴居村の将来像

今後、鶴居村がどのような村になってほしいかは、「自然と共生する美しい村（自然が豊かで、環境にやさしい村）」（57.3%）、「健康で安心して暮らせる村（保健・医療や福祉が充実した村）」（55.0%）が他を引き離して上位回答となっています。

問7 今後の鶴居村の姿を考えると、どのような村になってほしいと思いますか。

（3つまで〇印）



#### 【その他内容】

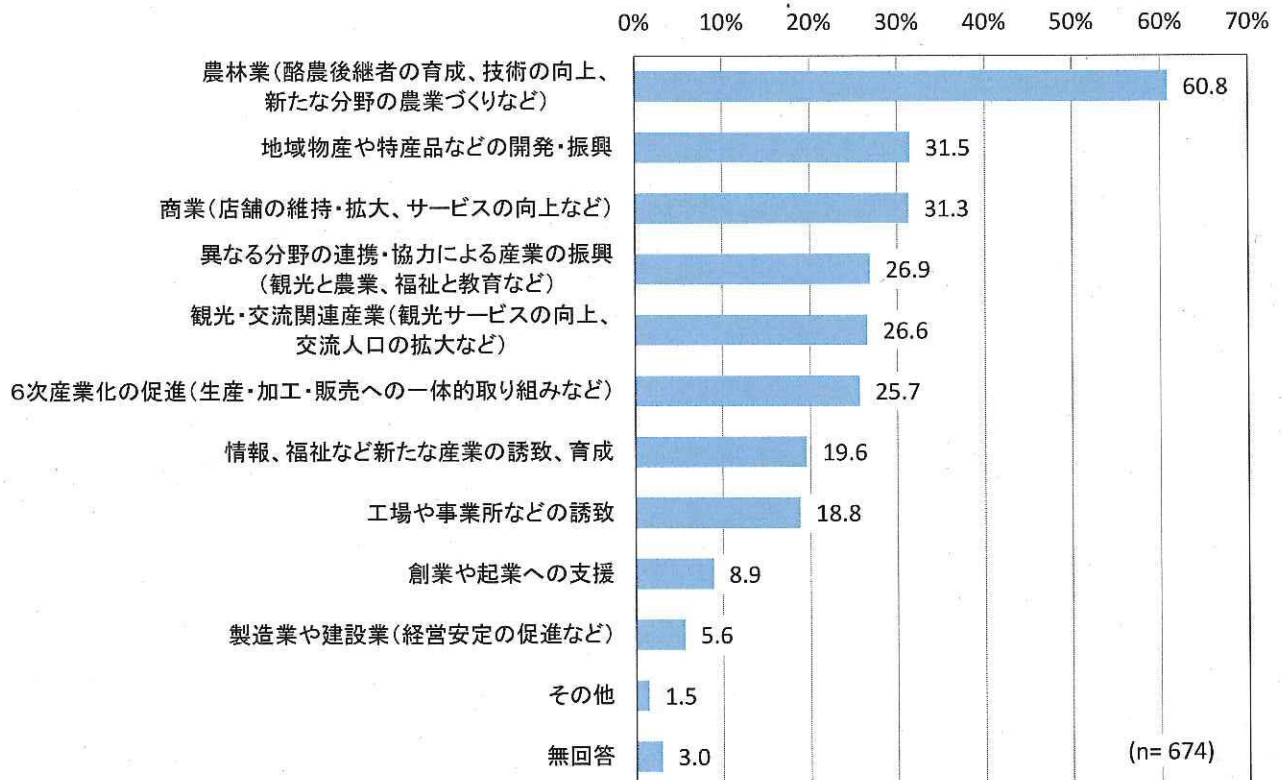
- ・女性が子育て、仕事がしやすい村（7）
- ・人を大切にする村
- ・若い世代が活躍できるよう古い考えを継続することを改めてほしい
- ・一体感がある村

## (2) 産業振興で力を注ぐべき分野

産業振興で力を注ぐべき分野は、本村の基幹産業である「農林業（酪農後継者の育成、技術の向上、新たな分野の農業づくりなど）」が60.8%で突出しています。

次いで「地域物産や特産品などの開発・振興」（31.5%）、「商業（店舗の維持・拡大、サービスの向上など）」（31.3%）と続いています。

問8 鶴居村の産業振興について、特にどの分野に力を注ぐべきだと思いますか。（3つまで○印）



### 【その他内容】

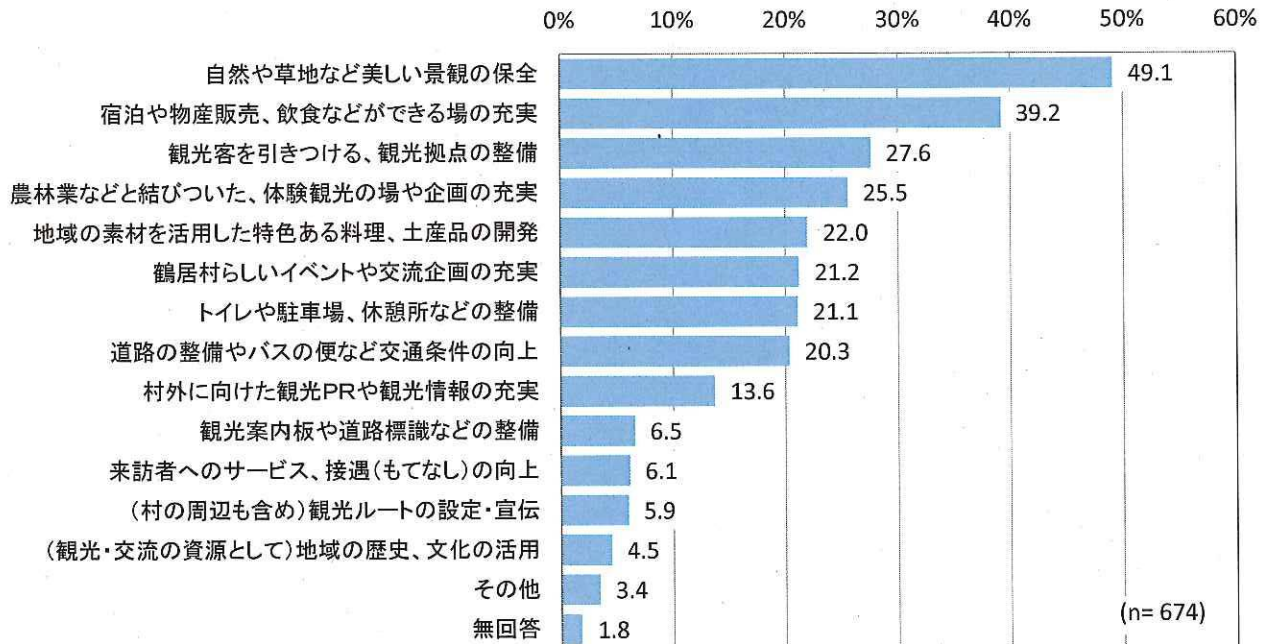
- ・6次産業化後の販促。PR手法の指導。アンテナショップ等によるサポート
- ・農、工業、高校を誘致し、全国から学生を集め、人技金の向上
- ・人材育成に係る情熱ある指導者の開発に蓄財を
- ・大学の誘致、研究機関の誘致、本社機能の誘致
- ・鹿の皮を使用（工芸）。農業地における商い、軽飲食など。
- ・エネルギーの地産地消。再生エネルギーの利用
- ・規制緩和。農業地域における小規模商業、許可

### (3) 観光・交流振興で重要なこと

鶴居村の観光・交流振興に向けて重要なことは、「自然や草地など美しい景観の保全」が49.1%で約半数、次いで「宿泊や物産販売、飲食などができる場の充実」(39.2%)が続いています。

問9 鶴居村の観光・交流の振興に向けて、どのようなことが重要だと思いますか。

(3つまで〇印)



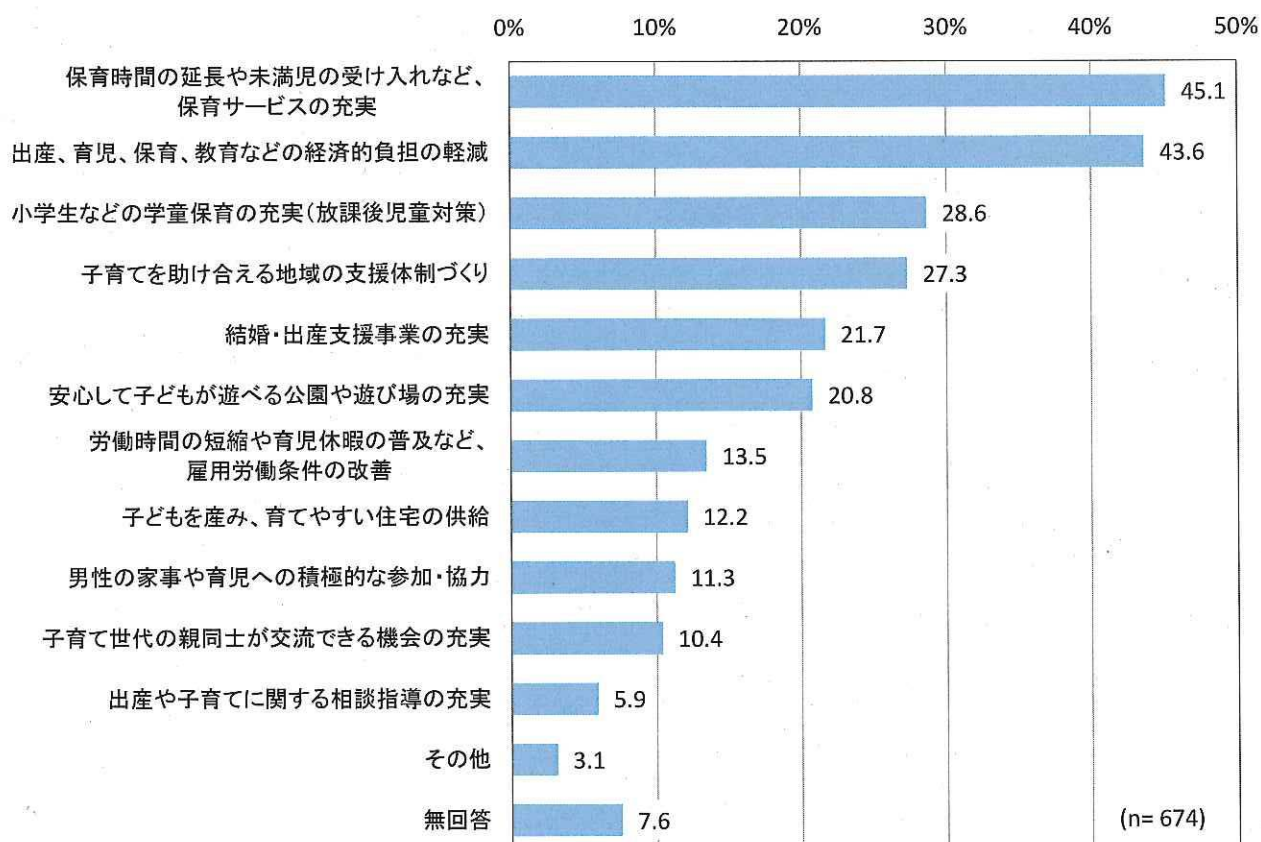
#### 【その他内容】

- ・ 村民が利用しやすいこと
- ・ サイクリングロード
- ・ 住民と観光客が触れ合える場があると良い
- ・ 本州の花粉症、酷暑シーズンのピンポイント逃避滞在PR
- ・ 糞尿のにおい対策を早急に実施してください
- ・ 鶴居は多くのバスがあるが幌呂にもほしい
- ・ ガイドの育成・足湯・鶴居市街メインストリートの再整備
- ・ 富良野のラベンダー畑みたいな観光庭園づくり

## 5. 少子化対策について

少子化対策として力を注ぐべきことは、「保育時間の延長や未満児の受け入れなど、保育サービスの充実」(45.1%)および「出産、育児、保育、教育などの経済的負担の軽減」(43.6%)が他を引き離して多くなっています。

問 10 少子化対策として、今後どのようなことに力を注ぐべきだとお考えですか。(3つまで○印)



### 【その他内容】

- ・先に、働き世代支援を考えるべき
- ・夫婦が村外勤務だと希望の保育施設を望めない。
- ・相談に行っても納得できる返答をもらえない。
- ・少子化を前提としたむらづくりも重要と考えます
- ・スポーツ環境の充実
- ・障がいのある子どもに対するサービスの充実
- ・村内における未満児の医療の強化
- ・全国からシングルマザーを募集し、雇用、育児、教育、医療等の充実
- ・対策の必要はない
- ・子育て世代を甘やかさないこと
- ・村全体で子どもたちの心と体の育成に力を入れるべき

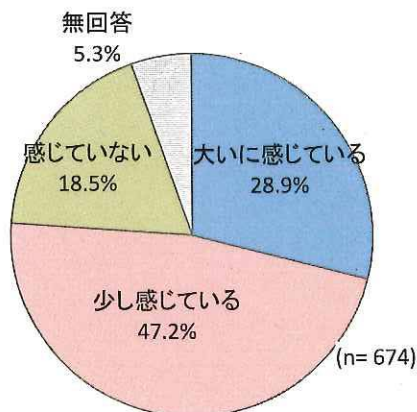


## 6. 高齢福祉について

### (1) 老後の不安

老後の不安は、「大いに感じている」が 28.9%、「少し感じている」が 47.2%、「感じていない」が 18.5%となっています。

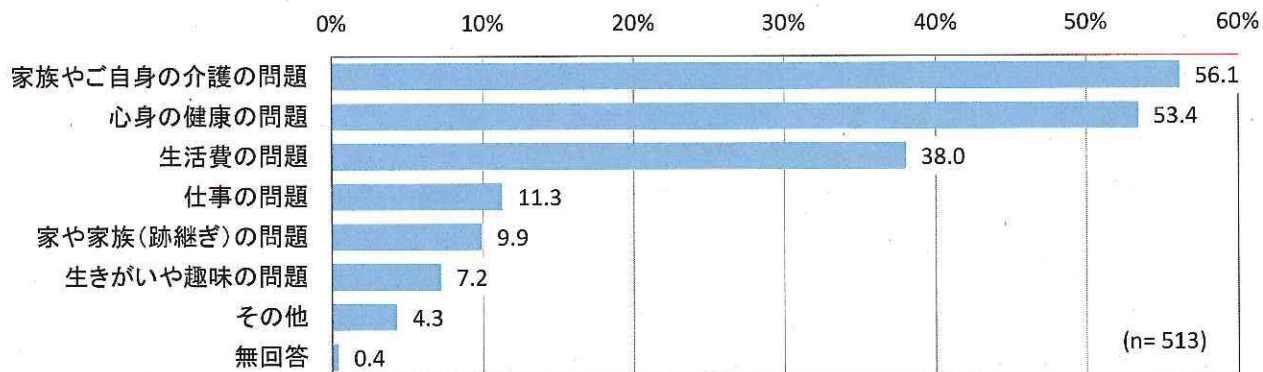
問 11 老後（または現在の老後生活）に不安を感じていますか。（1つに○印）



### (2) 老後の不安の内容

老後に不安を感じている人のその内容は、「家族やご自身の介護の問題」（56.1%）および「心身の健康の問題」（53.4%）が突出しており、次いで「生活費の問題」（38.0%）が続いています。

問 11 付問 問 11 で「大いに感じている」「少し感じている」と回答した方におたずねします。  
不安を感じることは何ですか。（2つまで○印）



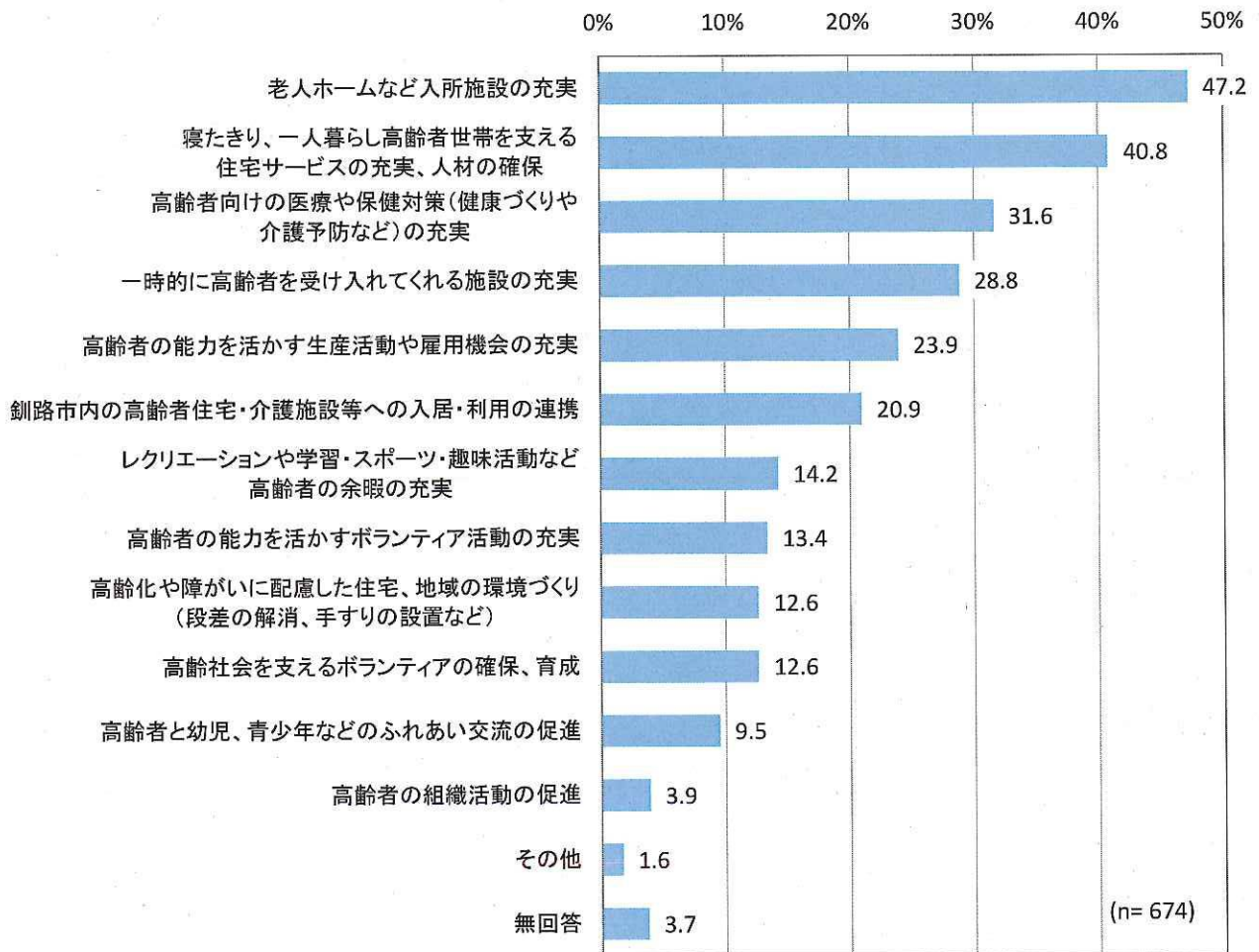
#### 【その他内容】

- ・通院等の交通手段（6）
- ・充実した医療機関がない（5）
- ・生活全般への不安（4）
- ・近隣世帯の同時高齢化
- ・老後の除雪
- ・時間のゆとり
- ・墓のこと
- ・独居老人、孤独死

### (3) 高齢福祉で力を注ぐべきこと

高齢者の福祉と生きがいを高めていくために力を注ぐべきことは、「老人ホームなど入所施設の充実」が47.2%で最も多く、次いで「寝たきり、一人暮らし高齢者世帯を支える住宅サービスの充実、人材の確保」(40.8%)、「高齢者向けの医療や保健対策(健康づくりや介護予防など)の充実」(31.6%)が続いています。

問 12 高齢者の福祉と生きがいを高めていくために、今後どのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。(3つまで○印)



#### 【その他内容】

- 24 時間体制の医療対応、介護対応
- 交通手段、移動時のサポート (3)
- 高齢者の雇用の場を作る

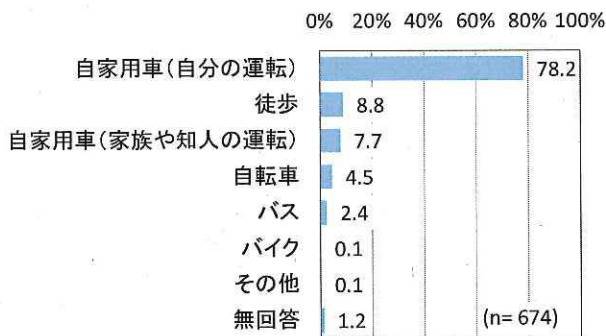
## 7. 外出時の移動手段について

### (1) 外出時の移動手段

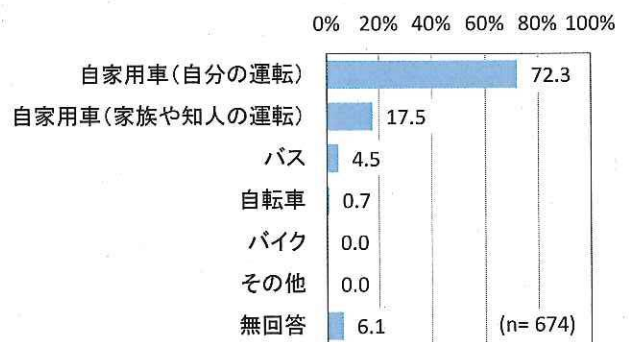
村内、村外いずれにおいても「自家用車（自分の運転）」が外出時の主な移動手段となっています。

問 13 外出時の主な移動手段は何ですか。（それぞれ1つに○印）

【村内の移動手段】



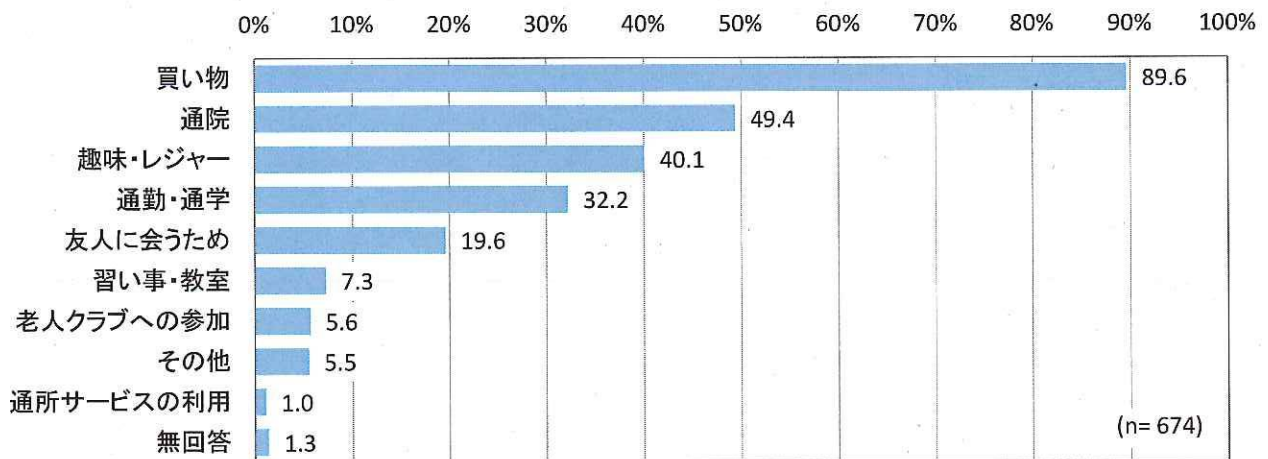
【村外の移動手段】



### (2) 外出の目的

外出の目的は、「買い物」が89.6%で最も多く、次いで「通院」（49.4%）、「趣味・レジャー」（40.1%）と続いています。

問 14 外出の主な目的は何ですか。（3つまで○印）



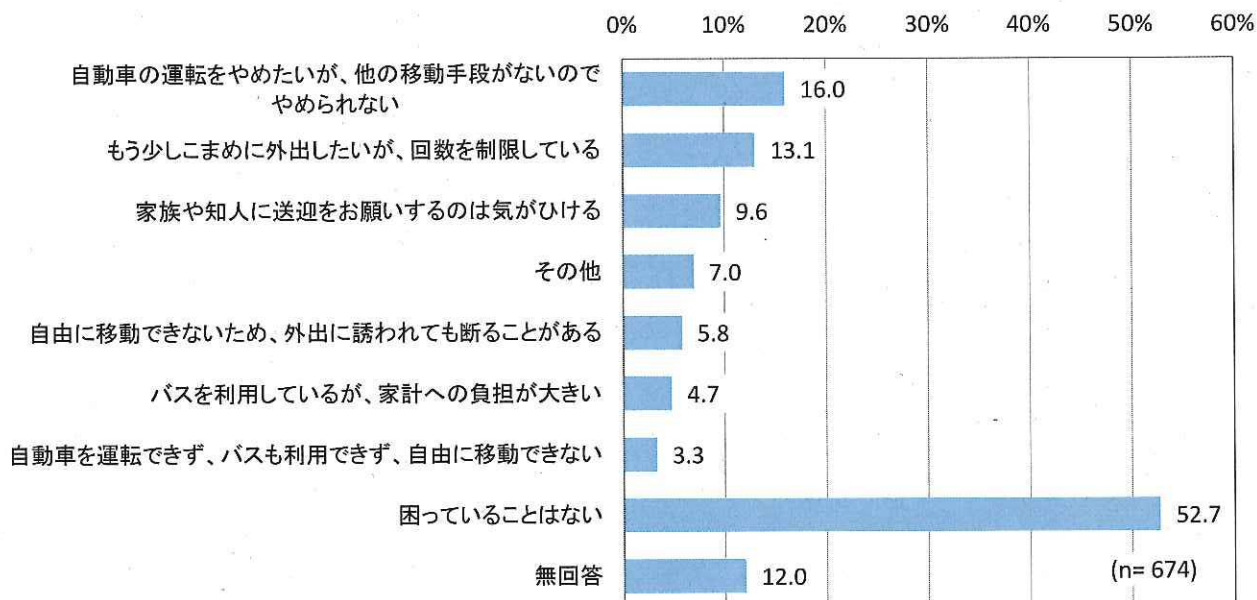
【その他内容】

- ・子どものお迎え（7）
- ・仕事で使う（7）
- ・親族に会うため（7）
- ・ボランティア（2）

### (3) 外出時に困っていること

外出時に「困っていることはない」が約半数の回答となっていますが、困っていることの中では「自動車の運転をやめたいが、他の移動手段がないのでやめられない」が16.0%で最も多く、次いで「もう少しこまめに外出したいが、回数を制限している」(13.1%)が続いています。

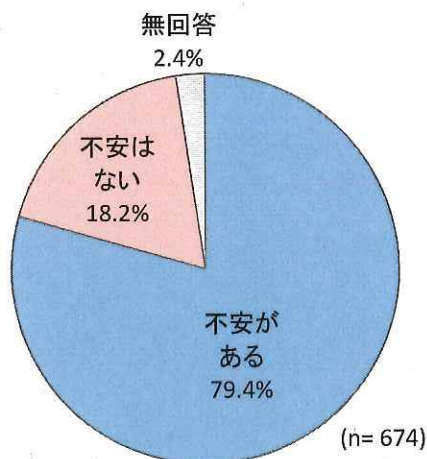
問 15 日頃、外出する際に困っていることはありますか。(3 つまで○印)



### (4) 移動に関する将来の不安

移動に関する将来に「不安がある」と回答した人は79.4%と多数を占めています。

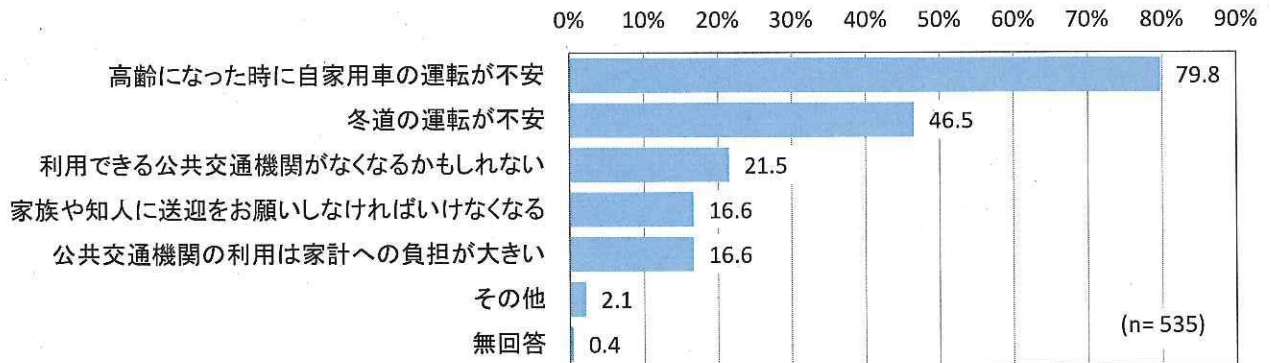
問 16 移動に関して、あなたは将来の不安はありますか。(1 つに○印)



## (5) 移動に関して不安を感じる内容

移動に関して「不安がある」と回答した人の不安の内容は、「高齢になった時に自家用車の運転が不安」が79.8%を占めており、次いで「冬道の運転が不安」(46.5%)が続いています。

問 16 付問 問 16 で「不安がある」と回答した方におたずねします。不安を感じるのはどのようなことですか。(2 つまで〇印)



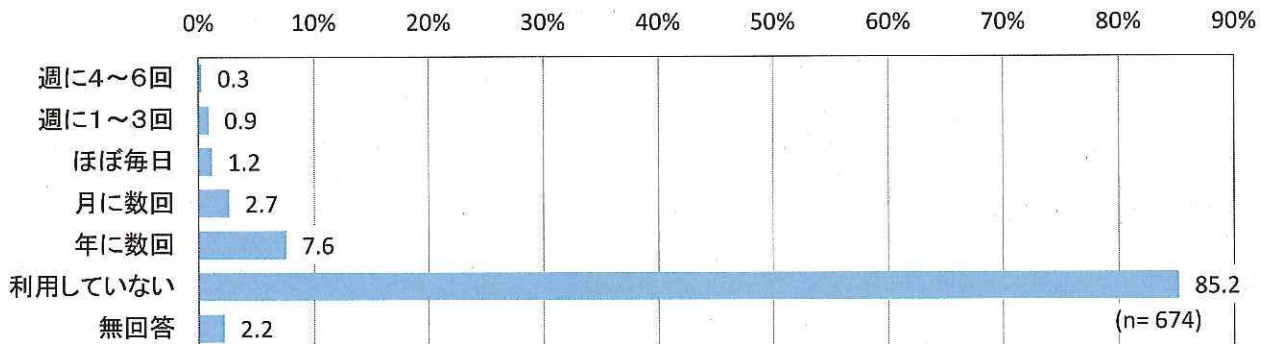
### 【その他内容】

- ・事故
- ・バスの本数が少ないため、時間の制約を大きく受ける
- ・運転ができなくなったときどうすればよいか
- ・買い物等の移動手段
- ・病気の時などの移動手段がない

## (6) 路線バス利用頻度

路線バスを「利用していない」と回答した人が85.2%を占め、「年に数回」以上路線バスを利用している人は12.7%にとどまっています。

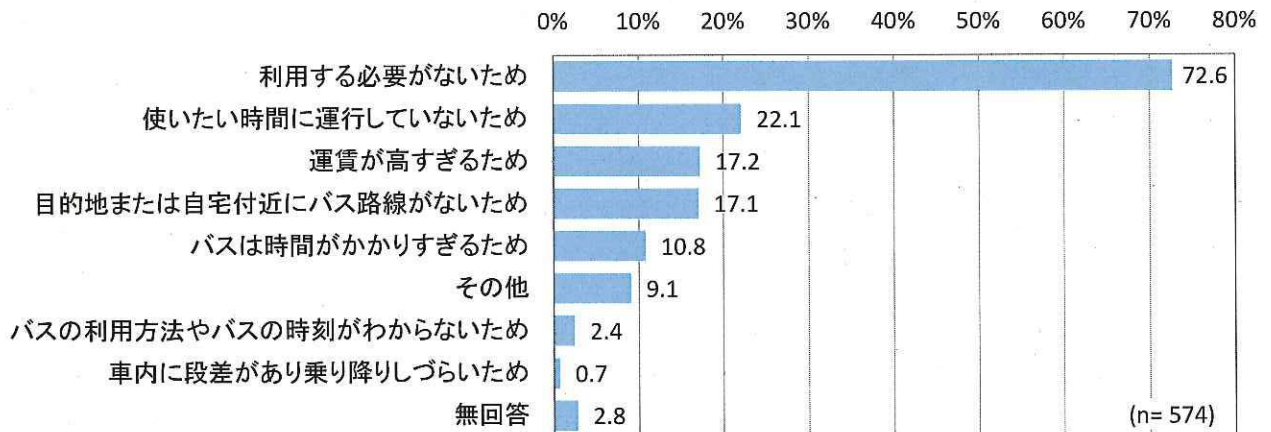
問 17 路線バスの利用頻度はどれくらいですか。(1 つに〇印)



## (7) 路線バスを利用していない理由

路線バスを「利用していない」と回答した人の理由は、「利用する必要があるため」が72.6%を占めており、次いで「使いたい時間に運行していないため」(22.1%)、「運賃が高すぎるため」(17.2%)が続いています。

問 17 付問 問 17で「利用していない」と回答した方におたずねします。利用していない理由は何ですか。(3 つまで○印)



### 【その他内容】

- ・自分で運転できるから (44)
- ・バスの本数が少なすぎるから (3)
- ・バス路線が近くにない
- ・乗り物酔いするから
- ・病気だから
- ・複数の用事を足せないから

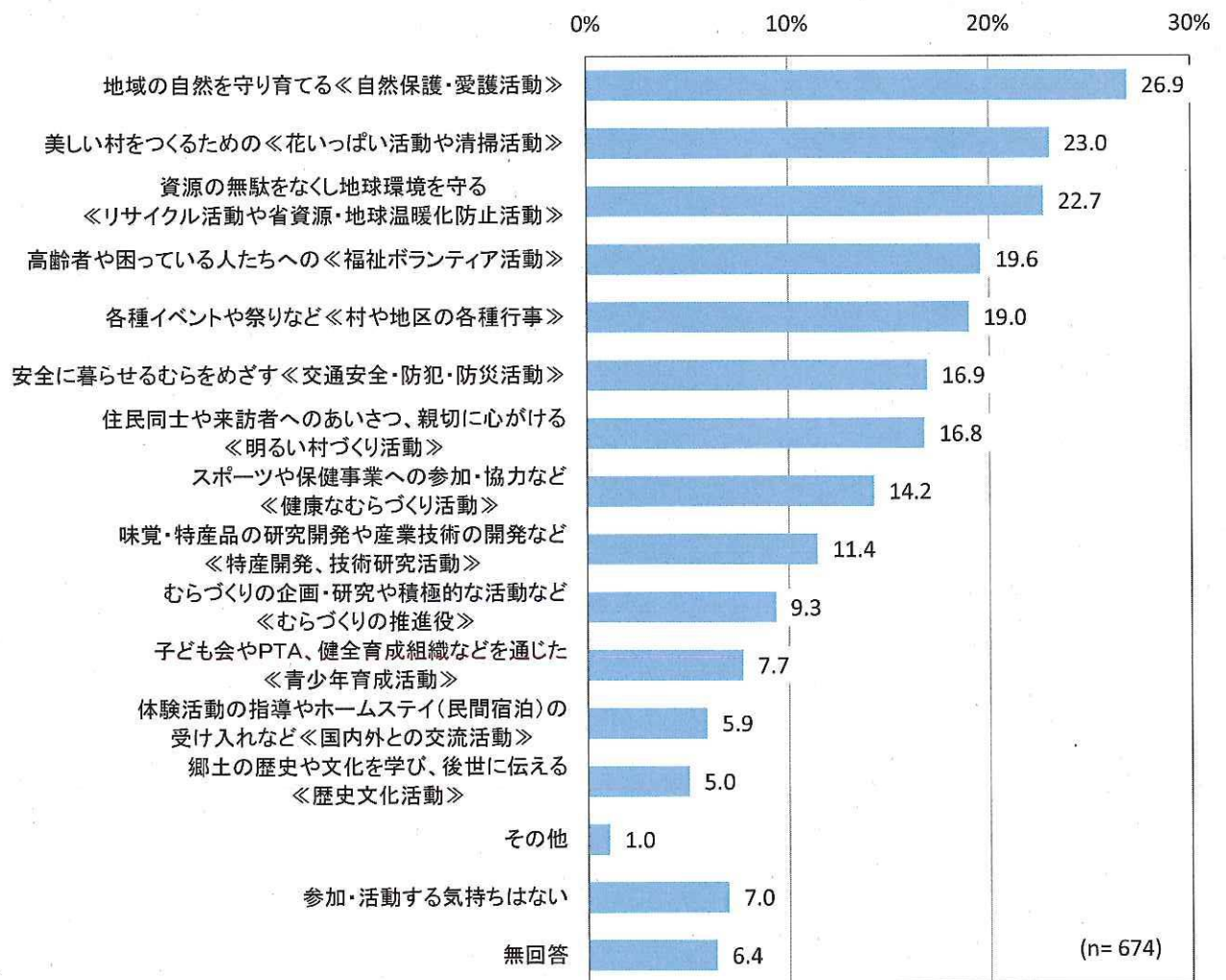
## 8. むらづくりへの住民参画について

### (1) 参加したいむらづくり活動

参加したいむらづくり活動は、「地域の自然を守り育てる《自然保護・愛護活動》」が26.9%で最も多くなっています。

また、「美しい村をつくるための《花いっぱい活動や清掃活動》」(23.0%)、「資源の無駄をなくし地球環境を守る《リサイクル活動や省資源・地球温暖化防止活動》」(22.7%)が続いており、鶴居村の将来像をたずねた際の回答で多かった「自然と共生する美しい村(自然が豊かで、環境にやさしい村)」に関連する活動への意欲が高いと考えられます。

問20 鶴居村では、村民の参画によってむらづくりが進められています。現在活動されているものも含め、あなたはどのような活動に参加したい(できる)と思いますか。(3つまで〇印)



## (2) 村民意向がむらづくりに反映されているかどうか

村民の意向が村づくりに反映されているかどうかは、「まあまあ反映されている」が43.5%で最も多く、「十分に反映されている」(4.0%)と併せて47.5%が反映されていると回答しています。一方、「あまり反映していない」は16.6%、「一部の意見だけが反映されている」は13.9%となっており、合計で30.5%が村民意向のむらづくりへの反映に疑問を持っている状況です。

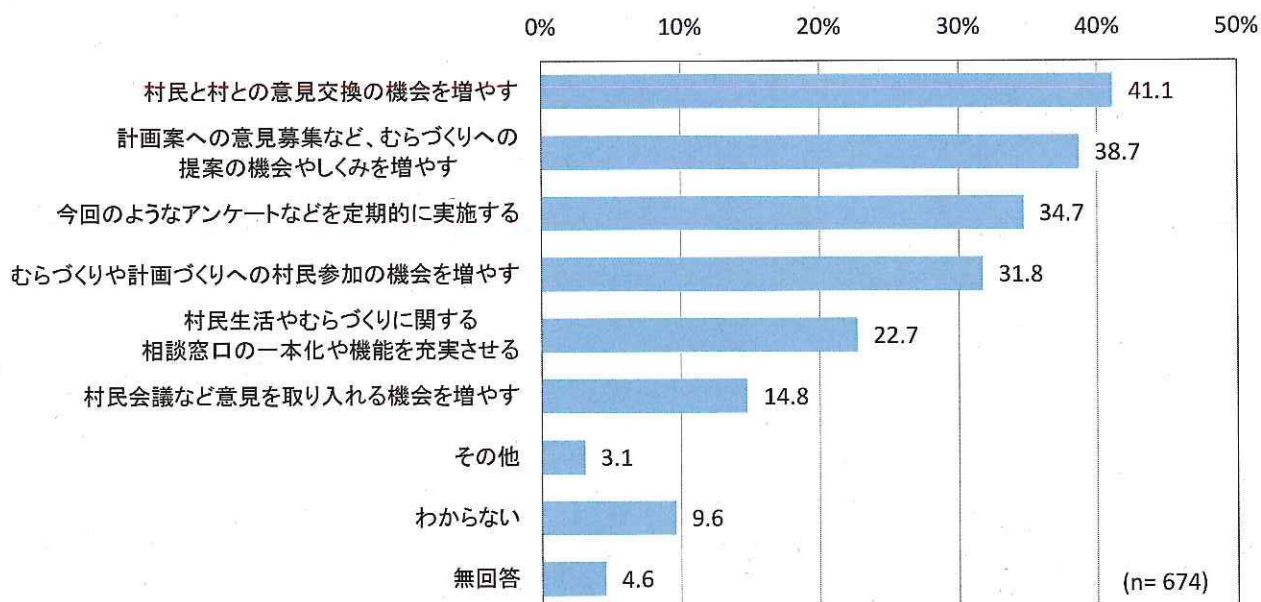
問 21 あなたは、村民の意向がむらづくりに反映されているとお感じですか。(1つに○印)



## (3) 村民の声をむらづくりに活かすために大切なこと

村民の声をむらづくりに活かすために大切なことは、「村民と村との意見交換の機会を増やす」(41.1%)、「計画案への意見募集など、むらづくりへの提案の機会やしくみを増やす」(38.7%)が上位回答になっており、村民の意見を募集する機会をもっと増やすことが望まれていると考えられます。

問 22 あなたは、村民の声を鶴居のむらづくりに活かしていくためにはどのようなことが大切だと思いますか。(3つまで○印)

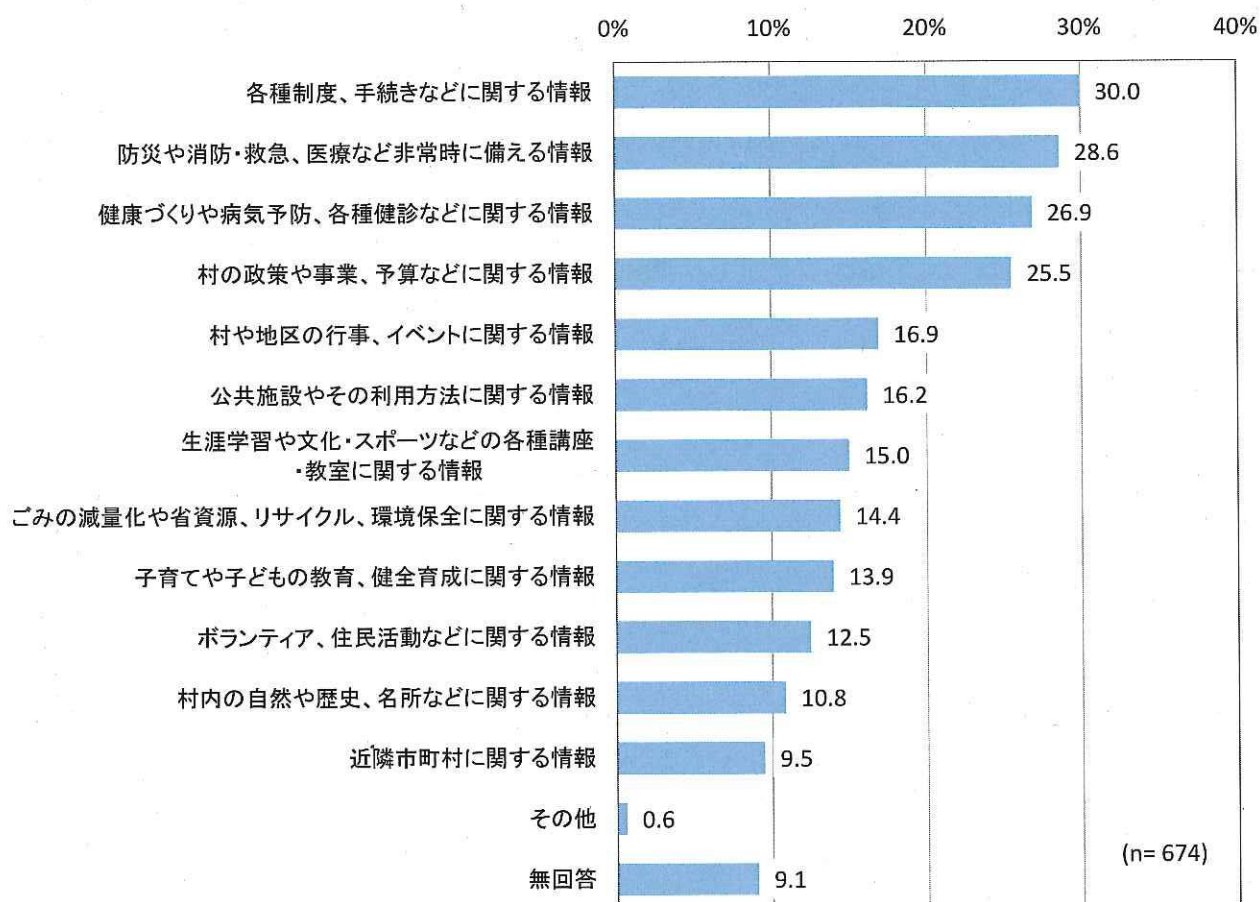




#### (4) むらづくり・地域に関してほしい情報

むらづくり・地域に関してのほしい情報は、「各種制度、手続きなどに関する情報」が30.0%で最も多く、次いで「防災や消防・救急、医療など非常時に備える情報」(28.6%)、「健康づくりや病気予防、各種健診などに関する情報」(26.9%)が続いています。

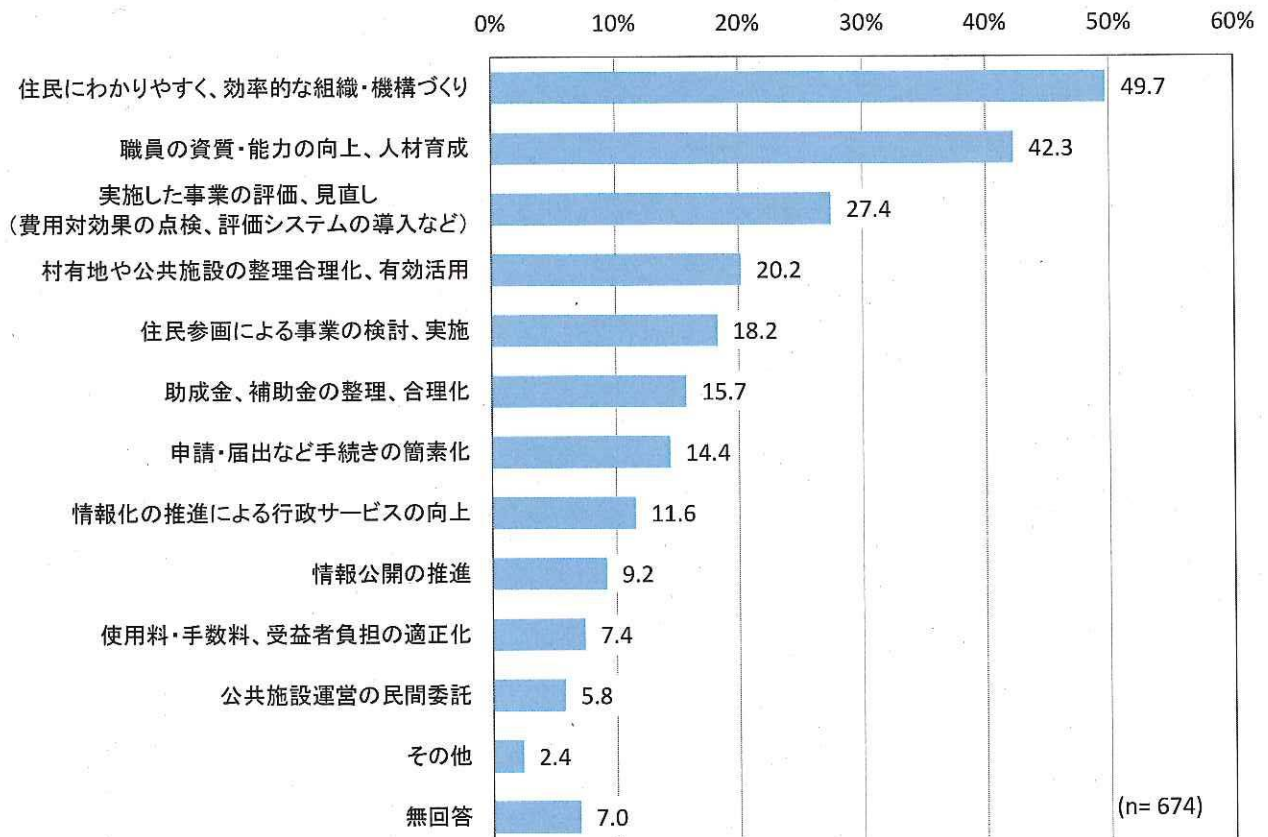
問 23 むらづくりや地域に関するどのような情報がほしいと思いますか。(3つまで○印)



## (5) 行政サービス・財政運営で進めていくべきこと

行政サービス・財政運営で進めていくべきことは、「住民にわかりやすく、効率的な組織・機構づくり」(49.7%)、「職員の資質・能力の向上、人材育成」(42.3%)が突出しています。

問 24 今後、行政サービスや財政運営で、役場が特に進めていくべき項目は何だと思えますか。  
(3つまで〇印)

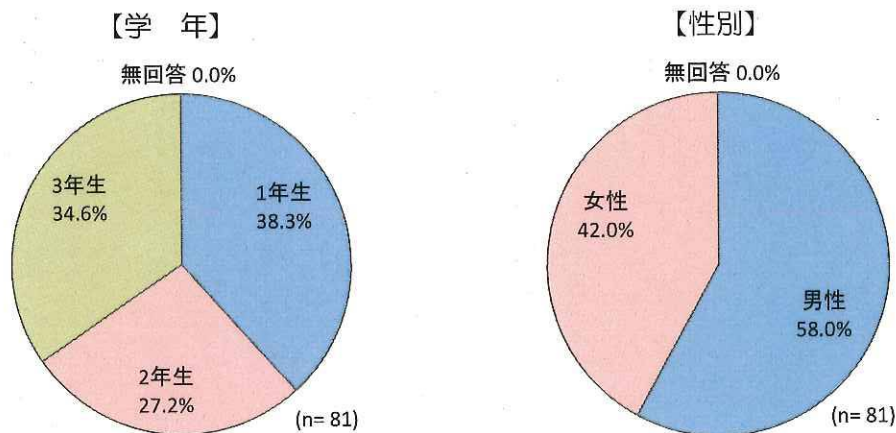


### 【その他内容】

- ・紙媒体の整理、張り紙、全面禁止。
- ・役場職員もっと明るく！！つんつんしないで。
- ・村民の声を本当に大切に受け止めることが最優先。
- ・幌中と鶴中の統合。
- ・冬場の除雪による安全確保。
- ・目新しいことよりも必要な事を地道にコツコツと。
- ・挨拶等、笑顔でしてほしい。
- ・住民目線による公共サービスのあり方について。
- ・議会をネット配信。

# 第3章 中学生向けアンケート集計結果

## 1. 回答者の属性

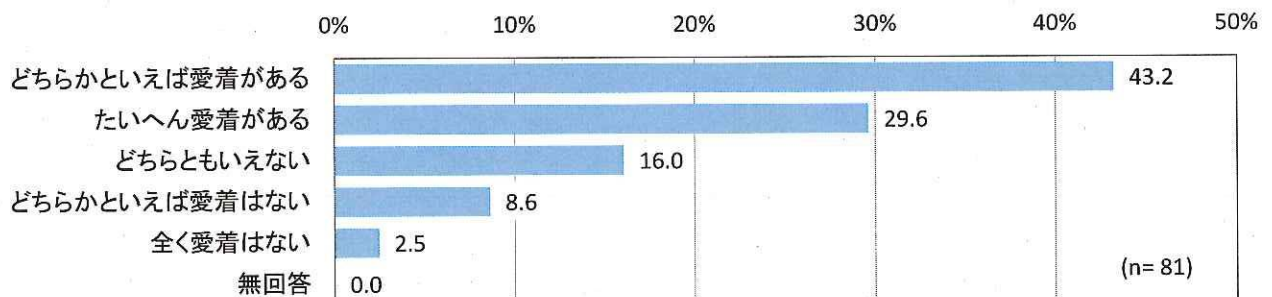


## 2. 愛着度と定住意向

### (1) 鶴居村への愛着度

「どちらかといえば愛着がある」(43.2%) および「たいへん愛着がある」(29.6%) の合計は72.8%で鶴居村に愛着を感じている生徒が多くなっていますが、一般向けアンケート結果の84.4%と比べると10ポイント以上低くなっています。

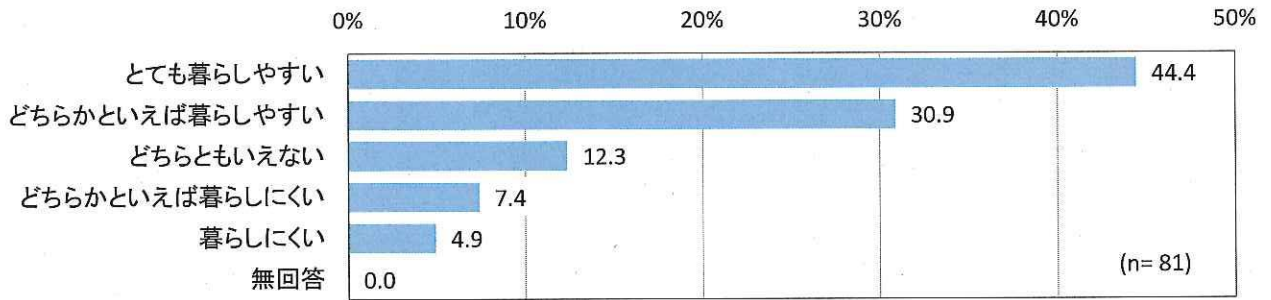
問2 あなたは、鶴居村に愛着を感じていますか。(1つに○印)



## (2) 鶴居村での暮らしやすさ

鶴居村での暮らしやすさは、「とても暮らしやすい」(44.4%) および「どちらかといえば暮らしやすい」(30.9%) の合計は75.3%で、一般向けアンケート結果の77.6%とほぼ同じ結果となっています。

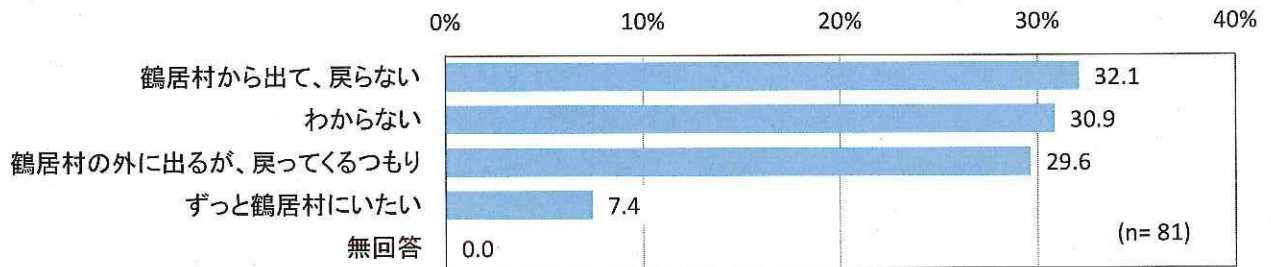
問3 あなたにとって、鶴居村は暮らしやすいですか。(1つに○印)



## (3) 今後の定住意向

今後の鶴居村への定住意向は、「鶴居村から出て、戻らない」が32.1%で最も多く、次いで「わからない」(30.9%)、「鶴居村の外に出るが、戻ってくるつもり」(29.6%)と続いています。

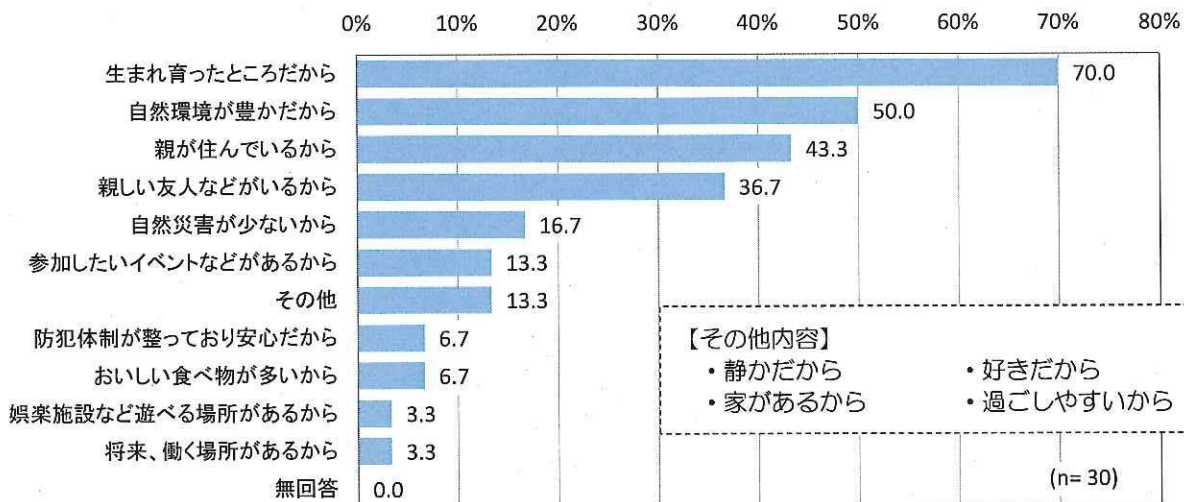
問4 あなたは、鶴居村に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)



#### (4) 将来、鶴居村に居住したい理由

「ずっと鶴居村にいたい」、「鶴居村の外に出るが、戻ってくるつもり」と回答した人のその理由は、「生まれ育ったところだから」が70.0%で最も多く、次いで「自然環境が豊かだから」(50.0%)、「親が住んでいるから」(43.3%)と続いています。

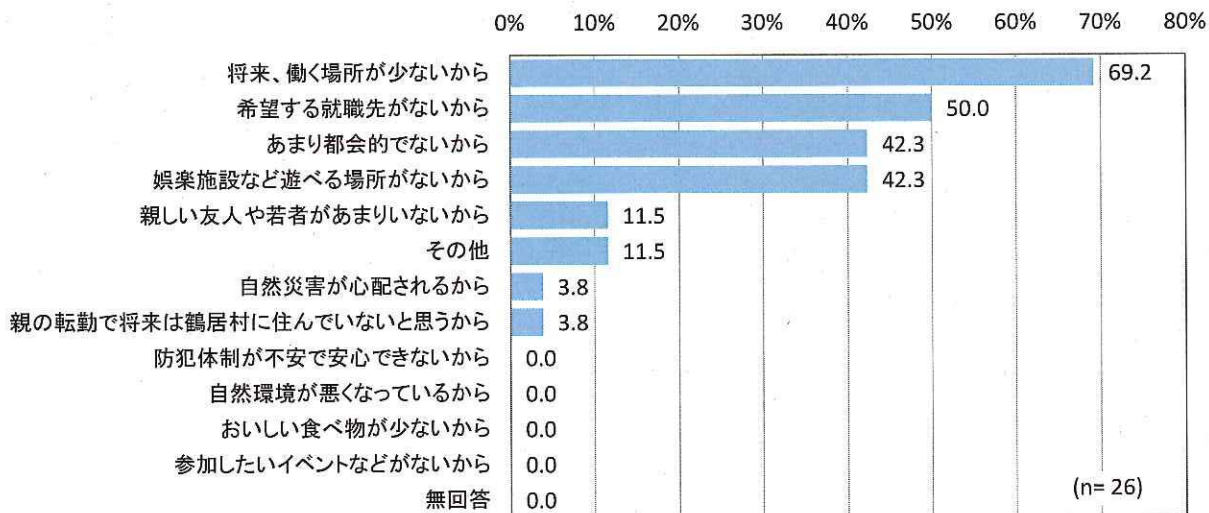
問4で「ずっと鶴居村にいたい」、「鶴居村の外に出るが、戻ってくるつもり」と回答した方におたずねします。  
問4-1 その理由は何ですか。(3つまで〇印)



#### (5) 将来、鶴居村に居住したくない理由

「鶴居村から出て、戻らない」と回答した人の理由は、「将来、働く場所が少ないから」が69.2%を占め、次いで「希望する就職先がないから」(50.0%)が続いています。

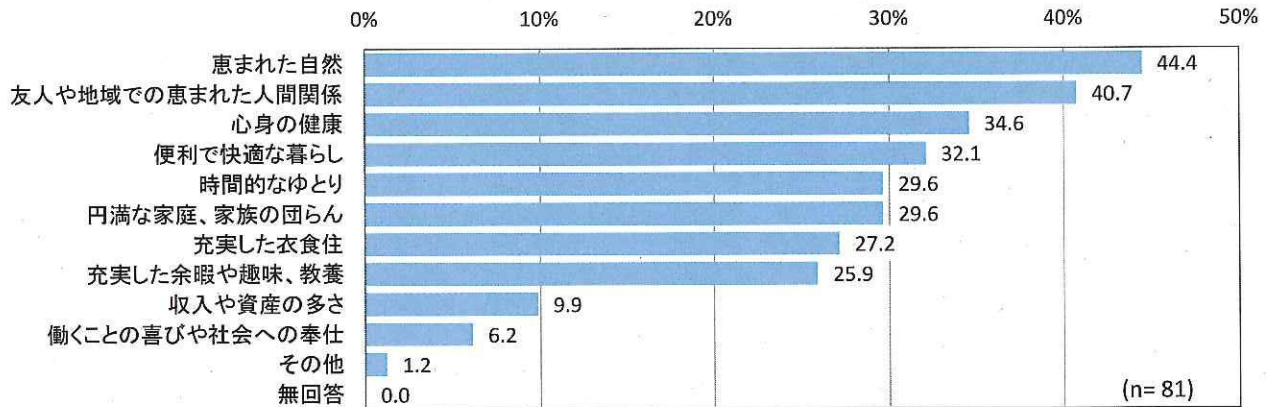
問4で「鶴居村から出て、戻らない」と回答した方におたずねします。  
問4-2 その理由は何ですか。(3つまで〇印)



## (6) 幸福感（豊かさ）とは何か

幸福感（豊かさ）は、「恵まれた自然」が 44.4%で最も多く、次いで「友人や地域での恵まれた人間関係」（40.7%）、「心身の健康」（34.6%）と続いています。

問5 あなたにとって“幸福感（豊かさ）”とは何ですか。（3つまで○印）

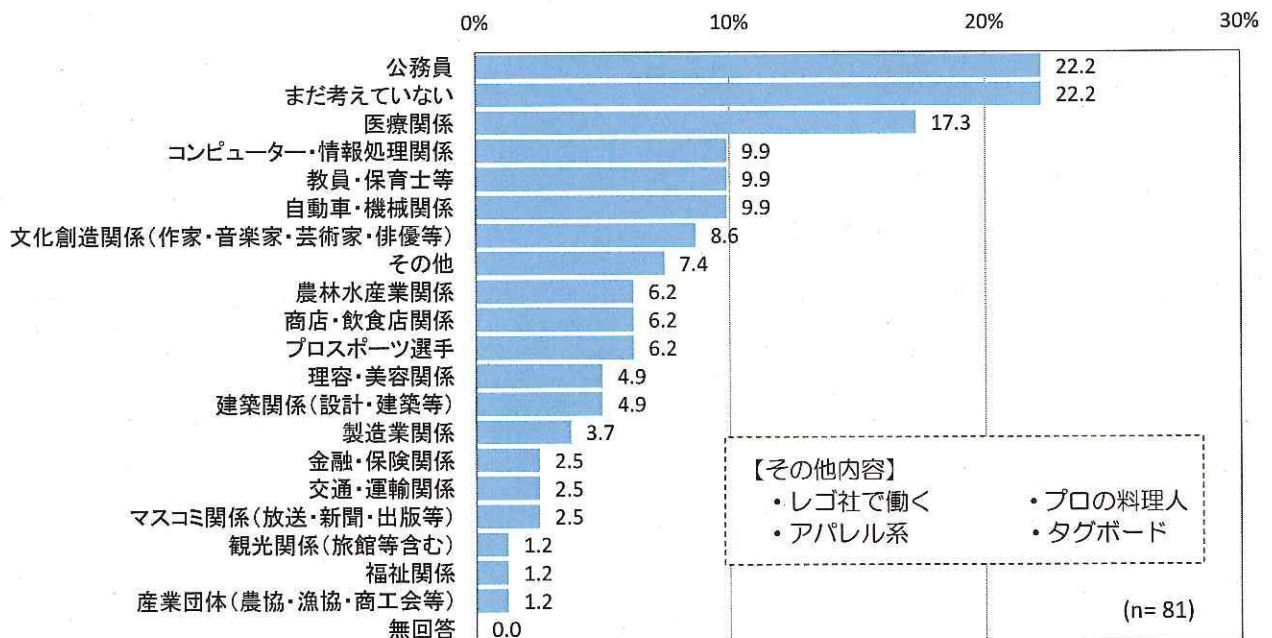


## 3. 将来の職業

### (1) 将来就きたい職業

将来就きたい職業は、「公務員」が 22.2%で最も多く、次いで「医療関係」（17.3%）が続いています。また、「まだ考えていない」も 22.2%で多い状況です。

問6 あなたは将来どのような職業につきたいですか。（3つまで○印）



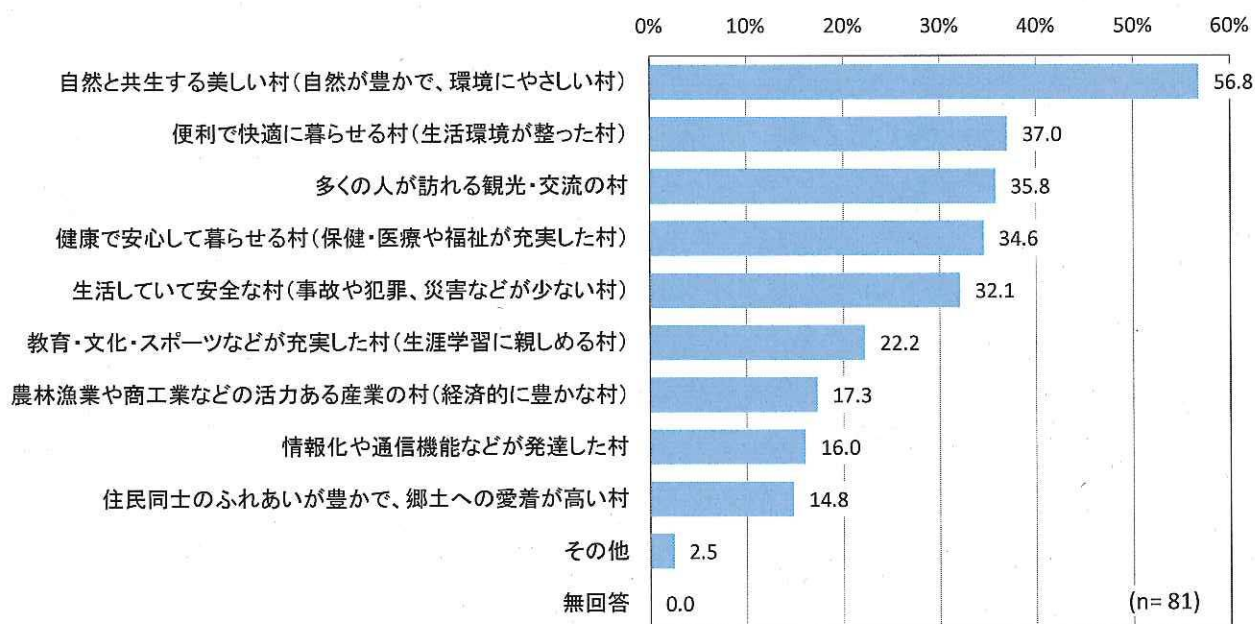
## 4. 鶴居村の将来

### (1) 将来希望する鶴居村の姿

今後、鶴居村がどのような村になってほしいかは、「自然と共生する美しい村（自然が豊かで、環境にやさしい村）」が56.8%を占めて最も多く、一般向けアンケート結果の57.3%とほぼ同じ結果となっています。

中学生は、次いで「便利で快適に暮らせる村（生活環境が整った村）」（37.0%）、「多くの人を訪れる観光・交流の村」（35.8%）といった商工観光の関する項目が続いており、一般向けアンケート結果で多かった「健康で安心して暮らせる村（保健・医療や福祉が充実した村）」とは違いが出ています。

問7 大人になった時、鶴居村がどんな村になっていたら良いと思いますか。（3つまで〇印）



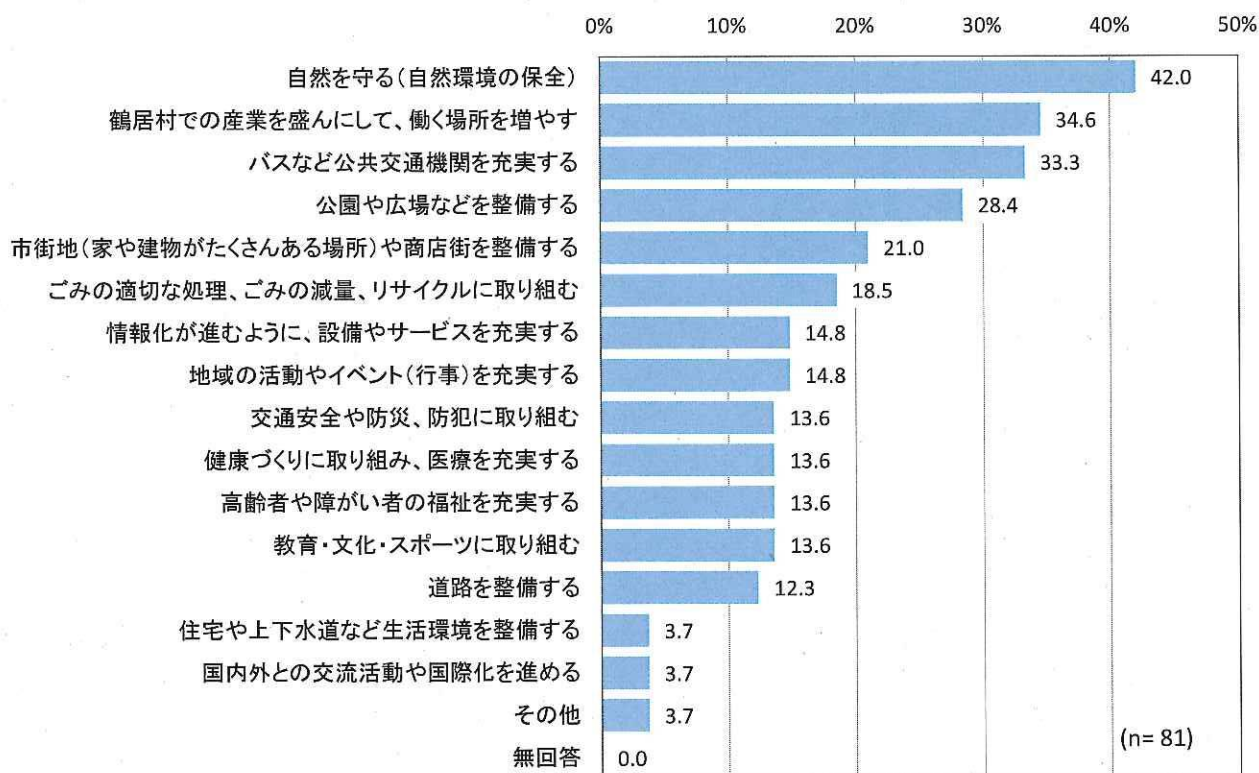
#### 【その他内容】

- ・今と変わらない
- ・このままでいい

## (2) 今後、村づくりで力を注ぐべきこと

今後のむらづくりで力を注ぐべきことは、「自然を守る（自然環境の保全）」が42.0%で最も多く、次いで「鶴居村での産業を盛んにして、働く場所を増やす」（34.6%）、「バスなど公共交通機関を充実する」（33.3%）が続いています。

問8 鶴居村のむらづくりで、今後どのようなことに力を注ぐべきだと思いますか。（3つまで〇印）



### 【その他内容】

- もっと自然などをきれいにして、観光客を増やしてほしい
- 都市化を進める